

電気設備工事特記仕様書 - 1

【工事概要】

1 工事場所	
2 建物概要	
建物名	構造
階数	延床面積(m ²)
消防法令別表第一	耐震安全性の分類
備考	甲 ○ 乙
	甲 乙
	甲 乙

3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	グラウンド
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備		
火災報知設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
電波障害調査		
撤去工事		

4 その他

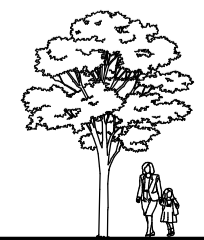
【特記事項】

- 一般事項
 - 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
 - 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 特記事項
 - 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員に承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工用電力・水その他	本工事に必要な工用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかにに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工用仮設物	構内につくることができない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する（本工事 別途）
	監督職員事務所へ備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
二	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P・C使用機器 S F 6 ガス使用機器 構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による） 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認	
	確認範囲	成形板の製造年等の確認 X線解析法
	処理方法	非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項																								
一	工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集 一覧表により提出。 宇治市ホム'-'参照 <http://www.ci.ty.uji.kyoto.jp> 月報 2部 3部 毎月末にめ、翌月の5日までに提出する。																								
	履行報告	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黒板情報電子化については、現場説明書による。																								
	工事写真																									
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 諸官庁提出書類 副本 1式 原図 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部 電子納品については、現場説明書による。																								
	著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る著作権は、発注者に委譲するものとする。																								
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。																								
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度（KH）により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </table>	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
	設置場所	特定の施設		一般の施設																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																					
	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																					
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																						
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																						
二	風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 V ₀ (3.0 3.2 3.4) 地表面粗度区分()																								
	風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受雷部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 〇風力発電装置 テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト																								
	電線類	1) 特記なきものは、EM-I-Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table border="1"> <tr> <th>EM-アクセスフロア</th> <th>JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-E-E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-C-E)を示す。</th> </tr> <tr> <th>EM-MEES</th> <th>JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの</th> </tr> </table>	EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-E-E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-C-E)を示す。	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																				
	EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-E-E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-C-E)を示す。																								
	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																								
	電線管	電線管 P F管 ただし、露出部分は銅製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(銅製電線管 P F管)とする。 ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚銅電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び(P F 2 2)又は(E 2 5)相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。																								
	電線本数、管路等	下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内P S・E P S 屋内機械室・電気室 〇廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員に承諾を受けて変更することができる。																								
	ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																								
	予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(51)を1本以上立上げる。																								
	フラッシュプレート	和室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製)																								
床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 二重床以外 飛び出し形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 〇アルミ製とする。)																									
機器	寸法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等(溶融亜鉛メッキ SUS) その他(一般品 SUS)																									

章	項目	特記事項																																				
一	あと施工アンカー	施工後確認試験 行う 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)「8.12.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																				
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 O A 盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)																																				
	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																				
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛り部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																				
	その他	屋外の盤類・開閉器箱 SUS 鋼板製 屋内外のプルボックス SUS 鋼板製																																				
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	電気方式	幹線 単相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分岐 単相2線式 100V 200V 直流2線式 100V																																				
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																				
	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。																																				
	多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。																																				
二	L E D制御装置の種類	図面特記があるものを除き、L E D照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはL X又はL Z、それ以外はL N又はL Jとする。																																				
	R P又はM P形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、S U Sを含む複数の材料が適用されている場合は、S U Sを適用する。																																				
	非常用照明の形式	電池内蔵形 電池別置形																																				
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用																																				
	分電盤等	1) 本工事の分電盤、O A 盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、J I S C 8 2 0 1-2-1「回路遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、J I S C 8 2 0 1-2-2「漏電遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1種サイズのものとする。 2) S P D分離器(配線用遮断機)は 警報接点付 警報接点無)とする。 3) S P D分離器は、監督職員に承諾を受けて、S P D内蔵とすることができる。 O A 盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける																																				
	照明用ポール	開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない																																				
	一般照明の照度測定	実施 する しない																																				
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分岐 三相3線式 200V																																				
	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、扉面に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障(扉面)に表示(させる させない)																																				
三	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																				
	インターロック	自動火災報知設備の受信機、運動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。																																				
	インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 <table border="1"> <tr> <th>電動機出力(kW)</th> <th>0.4</th> <th>0.75</th> <th>1.5</th> <th>2.2</th> <th>3.7</th> <th>5.5</th> <th>7.5</th> <th>11</th> </tr> <tr> <th>インバ-タ効率(%)</th> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <th>電動機出力(kW)</th> <th>15</th> <th>18.5</th> <th>22</th> <th>30</th> <th>37</th> <th>45</th> <th>55</th> <th>75</th> </tr> <tr> <th>インバ-タ効率(%)</th> <td>95.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </table> 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	インバ-タ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	インバ-タ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
	インバ-タ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
	インバ-タ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	保護レベル																																					
	受雷部システム	突針支持管 鋼製 ステンレス製																																				
接地システム	A型接地極(板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を〇設ける 設けない)																																					
工事範囲	配管 配線 機器取付																																					
電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式200V 単相3線式100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V/V																																					
四	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 系統連系保護制御盤																																				
	変圧器の規格【グ】	1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ダイアル温度計は、最高温度指針付とする。																																				
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																				
	基礎	本工事 別途工事 既設																																				
	付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																				
	その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はL E Dとする。 換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。(盤面警報ランプ共)																																				



電気設備工事特記仕様書-2

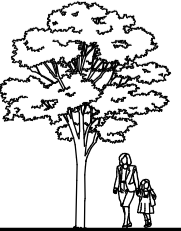
章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
	交流無停電電源装置(UPS)	用途 (一般形 簡易形) 方式 ()
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	形式	オープン形 簡易形 キュービクル
	連続運転可能時間	10時間(乙) 72時間(甲)
	発電機	電気方式 三相3線式 電圧 210V 6.6kV 415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	原動機	種別 ガスタービン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスタービン 燃料電池 コージェネレーション 定格出力 kW(PS)以上 始動方式 電気式 空気式 冷却方式 ラジエーター式 水槽循環式 現地負荷試験 行う 行わない
	燃料	種類 重油 軽油 灯油 ガス() 燃料小出槽 有 無 主燃料槽 有 無
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視盤による監視
太陽光発電装置	太陽電池	アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下(長辺 m x 短辺 m)
	系統連系	受動 能動
	パワーコンディショナ出力	相 線式 V kW以上
	逆潮流	有 無
	交流出力電圧	100V 200V
	出力電気方式	三相3線式 単相3線式 単相2線式
	外部移報	有 無
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	○金属管配線(屋外) ケーブル配線 ○合成樹脂管(PF)配線
	工事範囲	配管 配線 機器取付
構内交換設備	保安器用接地	本工事 別途工事
	形式	電子交換機 ボタン電話装置
情報表示設備	工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	親時計及び付属装置	CR-PM CW-PM プログラムタイマ(カード式 キー式)
	子時計	特記なきものは SWA ₃ -GB
映像音響設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線
拡声設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	増幅器	用途 全館放送用(一般放送 非常放送) ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	スピーカ	特記なきものは SC ₆ Hi-1V ₃ -M
誘導支援設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事内容	音声誘導装置 検出方式(磁気式 無線式 画像認識) インターホン 電話式 相互式 テレビインターホン 親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。 トイレ等呼出し装置 1窓 3窓 5窓 呼出しボタン 壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする) 壁付押しボタン(握りボタンの長さは1.2m程度とする) 通話機能 受付呼出し装置 誘導音
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)
	電界強度測定	電界強度及び画像は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
監視カメラ	工事範囲	配管 配線 機器取付
	画像	カラー 白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 ○
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
	自動火災報知装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 形 級 回線 壁掛形 自立形 単独形 複合形 副受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 光警報装置 消火ポンプ始動 消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。) 消火栓一体形 単独形 機器収容箱 単独形 自動閉鎖装置 工事範囲 配管 配線 機器取付 連動制御器 回線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 単独 自火報受信機と一体 自動閉鎖装置 防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	非常警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 電気方式 DC24V 電源装置 非常電源(蓄電池) 自動火災報知設備と兼用 工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 単独形 自火報受信機と一体
	ガス漏れ火災警報装置	ガスの種類 都市ガス(13A) 液化石油ガス
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。	
制中央監視	工事範囲	配管 配線 機器取付
	監視方式	警報盤 監視制御装置
構内配線	工事範囲	配管 配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット 鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式 (100V 200V)
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP) 埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面)から300mm以上とする。 架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
	区分開閉器	高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 架空引込用 地中引込用 構 耐中塩じん用 耐重塩じん用 形式 引外し装置付き(SOG形) 引外し装置なし 避雷器内蔵
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはE-M高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる ○よらない) 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
端子、高圧ケーブル端未処理	一般用 耐塩用 重耐塩用	
避雷器	屋外形 耐塩形	
装柱材	一般用 耐塩形	
外灯	基礎 本工事(建築工事) 別途工事 ○既設 外灯ポールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
工事範囲	○配管 配線 機器取付	
工事範囲	○配管 配線 機器取付	
ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP) 埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)から300mm以上とする。 架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール	
マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項
調査	調査範囲	測定のみ 対策工事実施設計書作成まで 工事前 工事中 完成後
	測定時期 測定箇所 測定内容	箇所 受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。
別表	付属品・予備品	箱 キーボックス テスター マンホールフック イーゼルキャビネット 工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパーナー、ハンマー) 受変電設備・盤 ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。
試験・検査一覧	試験・検査一覧	工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。 検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。 受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの 工事中手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。 工事中事前に既設照明器具でグラウンド面照度を測定し、完成後の照度と比較する。 (照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。) 着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 後施工アンカ-の施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。 例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等
その他	試験機器類の校正記録を提出する。 停電工事の必要な時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。 尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。 工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。 分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和7年度版)の資料5(P1119)に基づき施工する。 鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。 整備不良の電動工具等持ち込まない。 構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。 交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。 カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。	

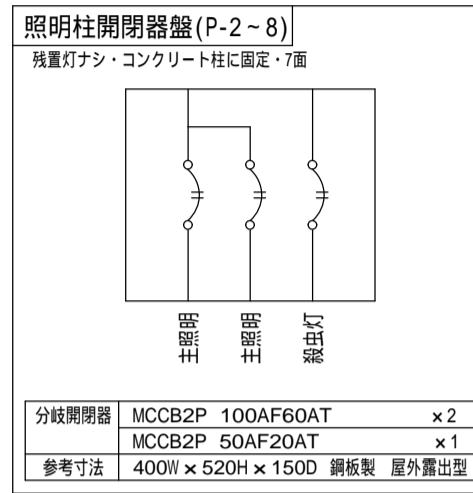
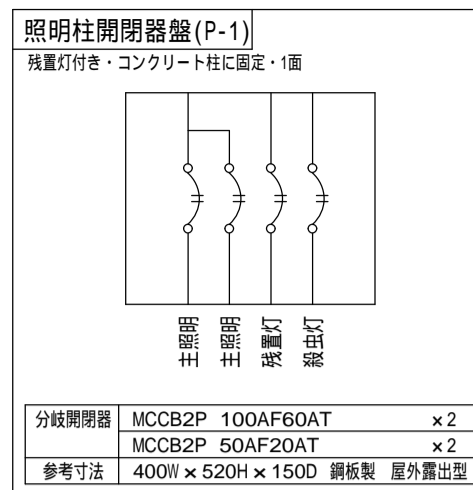
機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
取引用計器	地上~上端	2,000	端子盤	床上~上端	1,900
引込開閉器	〃	1,800	保安器函	天井下~上端	200
壁掛型制御盤	床上~上端	1,900	壁付位置ボックス	床上~中心	300
	〃(和室)	〃	〃	〃	150
	壁掛型親時計	天井下~上端	200	壁掛型親時計	床上~上端
アッテネーター	床上~中心	1,300	子時計	天井下~上端	200
分電盤	床上~上端	1,900	壁掛インターホン	床上~中心	1,500
スイッチ(一般)	床上~中心	1,300	〃(身障者)	〃	1,100
〃(身障者便所)	〃	900	壁付位置ボックス	〃	300
コンセント(一般)	〃	300	〃(和室)	〃	150
〃(和室)	〃	150	〃(台上)	台上~中心	300
〃(土間)	床上~中心	1,300	〃(鏡上)	鏡上端~中心	150
ブラケット(一般)	〃	2,100	機器収納函	天井下~上端	200
〃(踊場)	〃	2,500	直列ユニット	床上~中心	300
〃(鏡上)	鏡上端~中心	150	〃(和室)	〃	150



Ⓐ	CV38°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L4	
	CV22°-2C	(FEP40) × 2	主照明	L2・L3	
	CV14°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L1	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 1	残置灯	L9	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 4	殺虫灯	L10	
Ⓑ	CV38°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L4	
	CV22°-2C	(FEP40) × 2	主照明	L2・L3	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 3	殺虫灯	L10	
	CV38°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L4	
Ⓒ	CV22°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L3	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 2	殺虫灯	L10	
Ⓓ	CV38°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L4	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 1	殺虫灯	L4	
Ⓔ	CV14°-2C	(FEP40)	主照明	L5	
	CV3.5°-2C	(FEP30)	殺虫灯	L10	
Ⓣ	CV22°-2C	(FEP40) × 3	主照明	L6・L7・L8	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 3	殺虫灯	L10	
Ⓤ	CV22°-2C	(FEP40) × 3	主照明	L6・L7・L8	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 3	殺虫灯	L10	
Ⓥ	CV22°-2C	(FEP40) × 2	主照明	L7・L8	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 2	殺虫灯	L10	
Ⓦ	CV22°-2C	(FEP40) × 1	主照明	L8	
	CV3.5°-2C	(FEP30) × 1	殺虫灯	L10	
Ⓧ	CV100°-3CE22° × 2	(FEP80)	L13	グラウンド照明幹線	既設存置
	CV100°-3C	(FEP80)	L14	グラウンド照明幹線	既設存置
Ⓨ	EM-CET150°	既設7ヶ所	L13	グラウンド照明幹線	既設存置
	EM-CET150°	既設7ヶ所	L14	グラウンド照明幹線	既設存置
Ⓩ	EM-IE22° × 2	既設7ヶ所		接地母線	既設存置
ⓐ	EM-CET150°	(FEP80)	L13	グラウンド照明幹線	既設存置
	EM-CET150° E38° × 2	(FEP80)	L14	グラウンド照明幹線	既設存置
ⓑ	EM-CET150°	既設7ヶ所	L13	グラウンド照明幹線	既設存置
	EM-CET150°	既設7ヶ所	L14	グラウンド照明幹線	既設存置
ⓓ	EM-IE38° × 2	既設7ヶ所		接地母線	既設存置

照明柱 表柱リスト				
P-1	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器(内1台残置灯) 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-2	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-3	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-4	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-5	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-6	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-7	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			
P-8	メタルハイドランプ1000W・メタルハイドランプ安定器・投光器 投光器取付台・安定器取付台・コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 電撃殺虫器・開閉器盤 コンクリート柱用セーフティガード(厚40)			

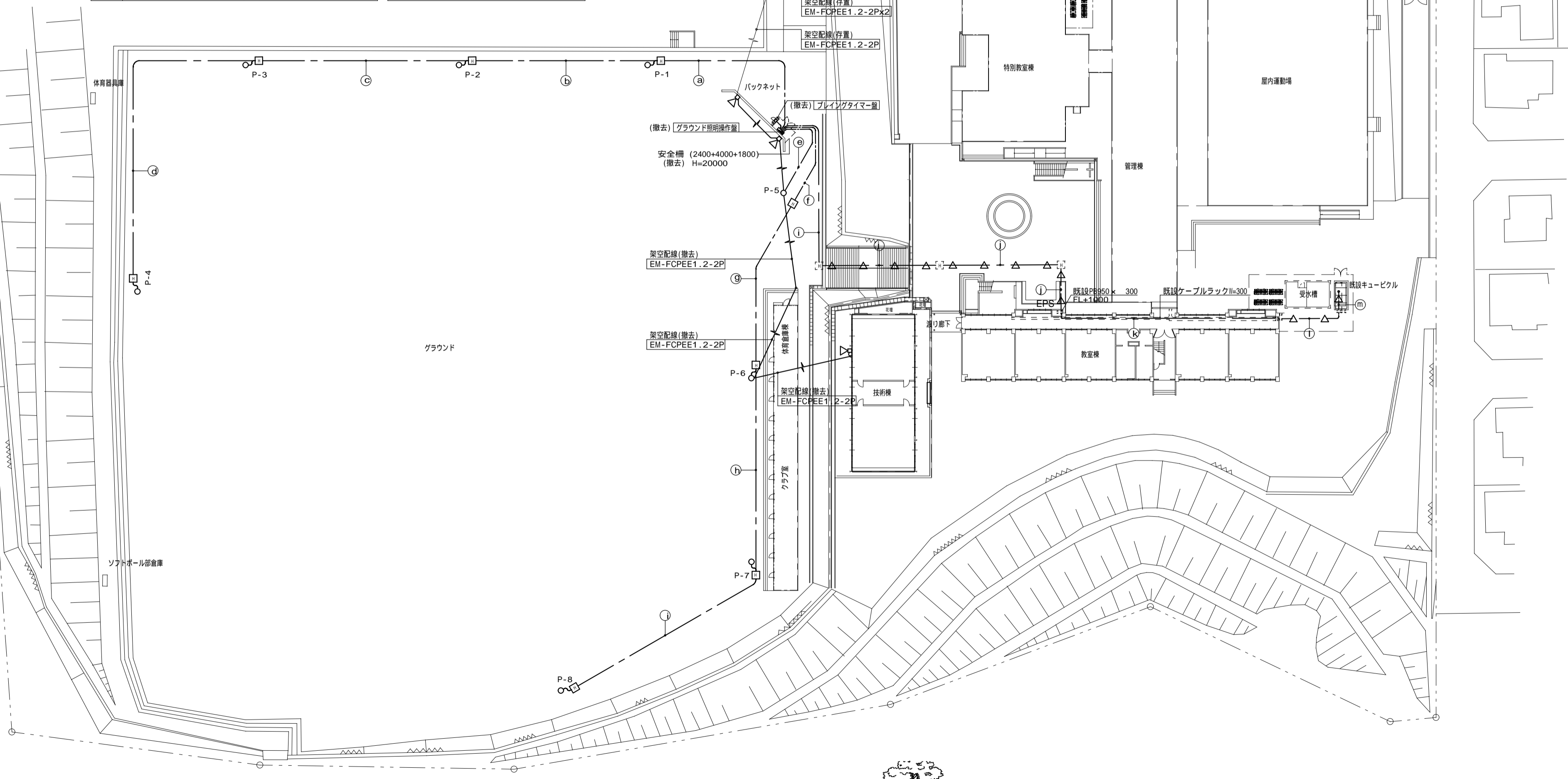


(注 記)

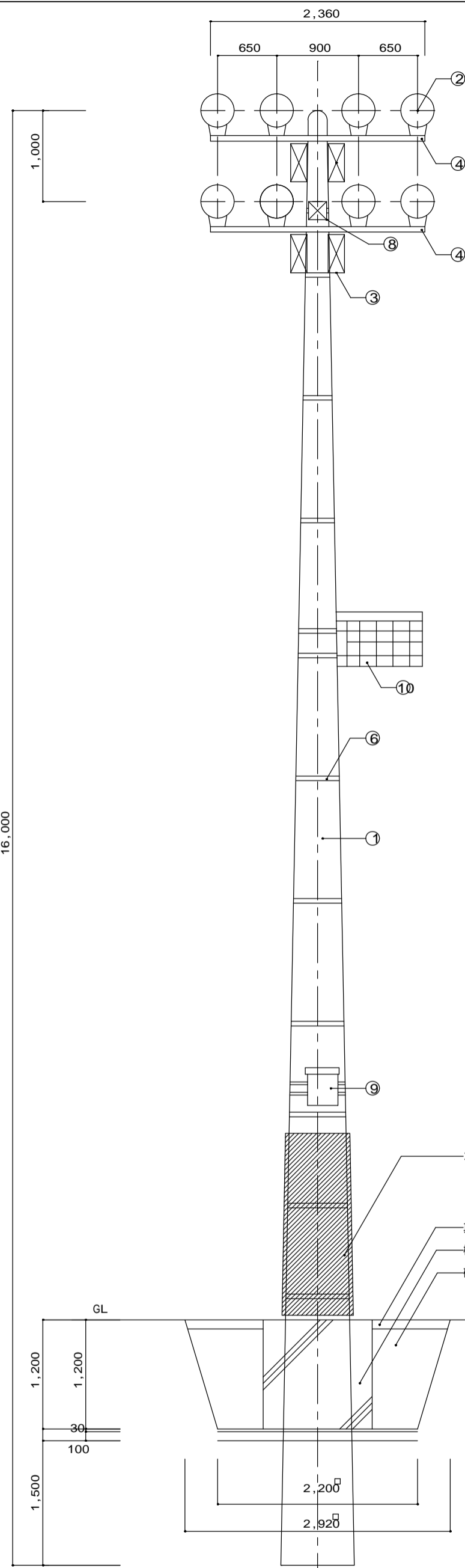
1. 図中特記なき記号太線は撤去を示す。
2. 細線は既設工事対象外を示す。

(凡 例)

記号	名称	備考
○	照明柱	既設存置
□	ホーンスピーカ	撤去
田	ハンドホール 600 × 600 × 900	撤去
田	プルボックス	既設存置
コゴ	ケーブルラック	既設存置
---	地中配線	
---	床下べい配線	
---	露出配線	
△	配線抜き	既設配管存置



グラウンド
P × 8



既設照明ポール建柱及び装柱図 1/50

照明ポール装柱リスト(撤去) 8灯用1基あたり

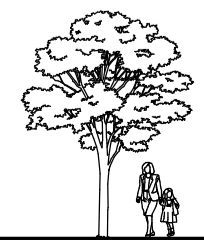
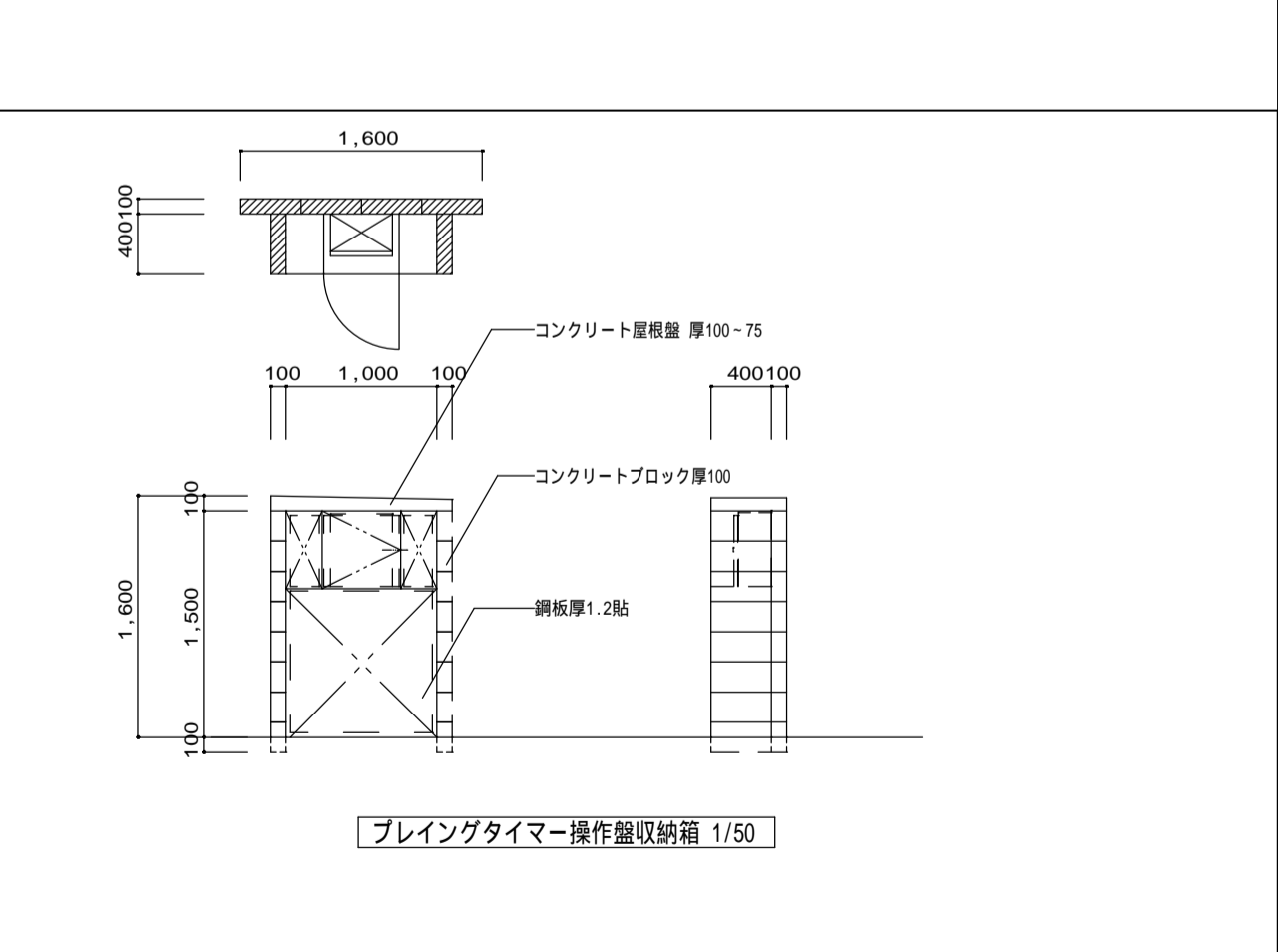
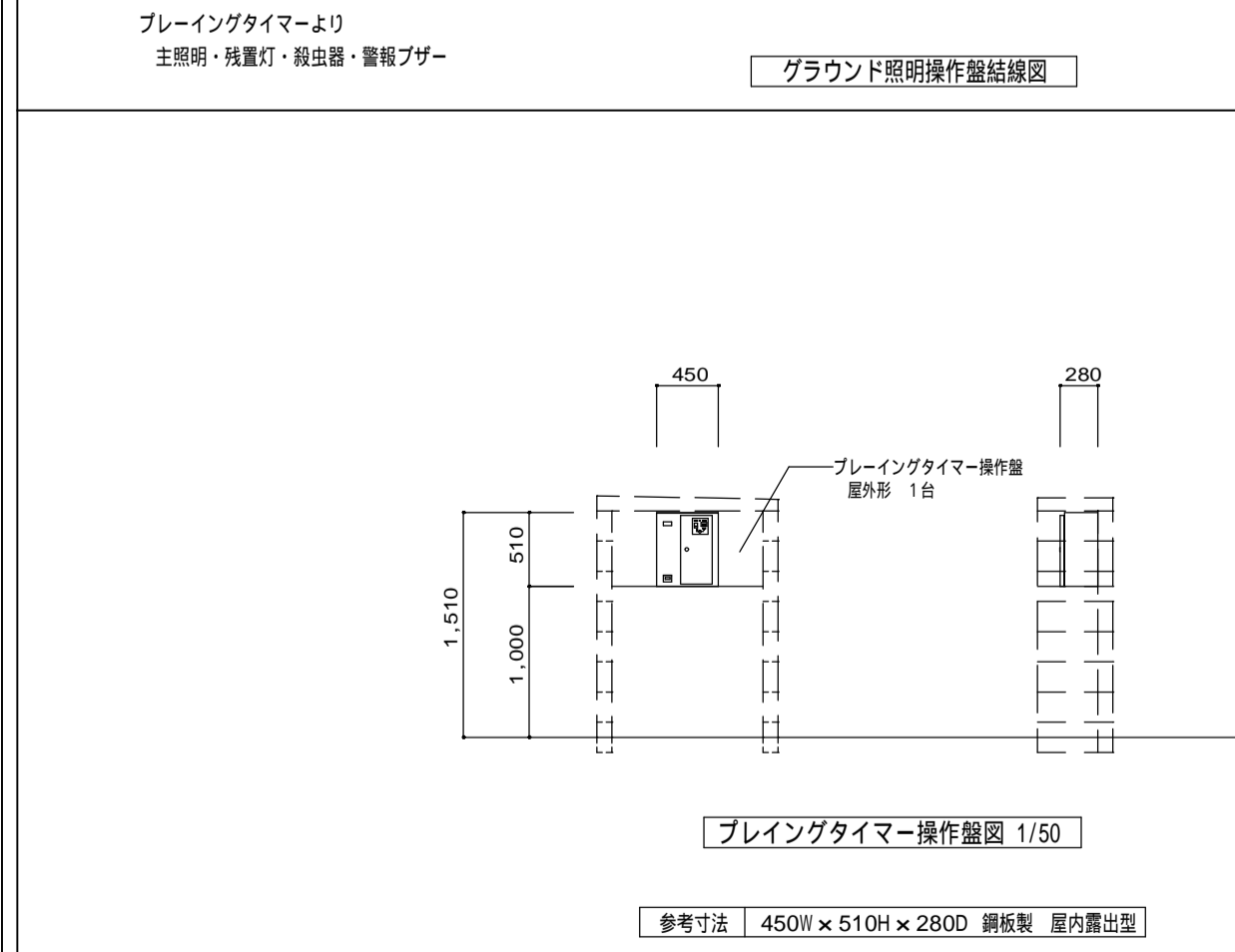
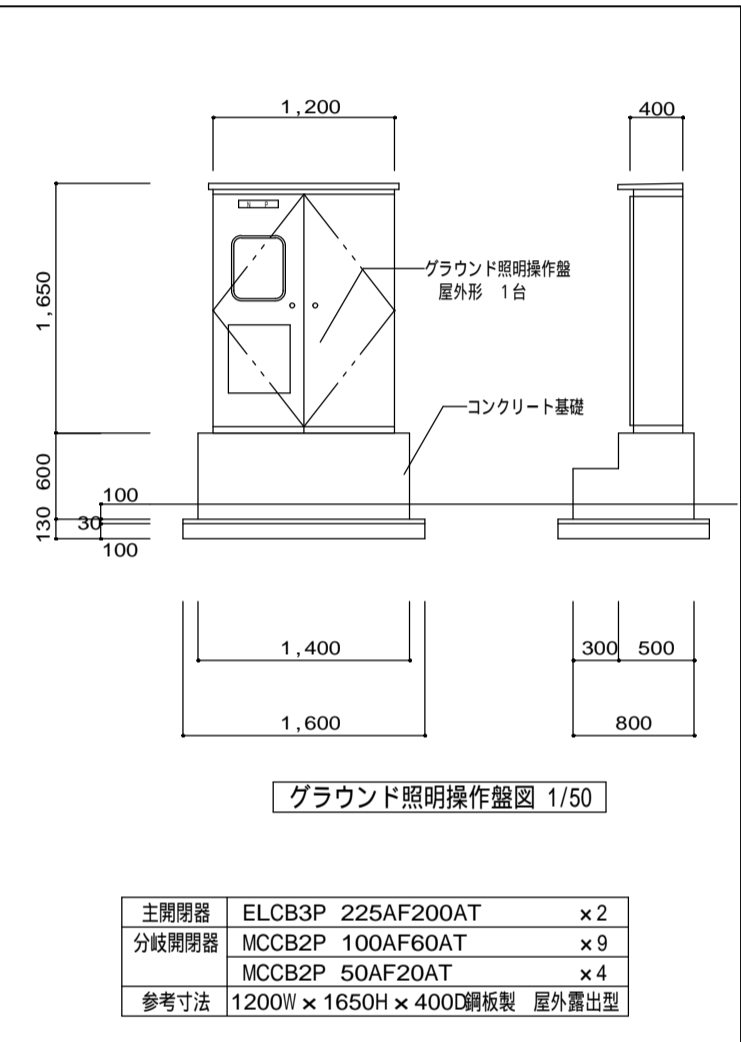
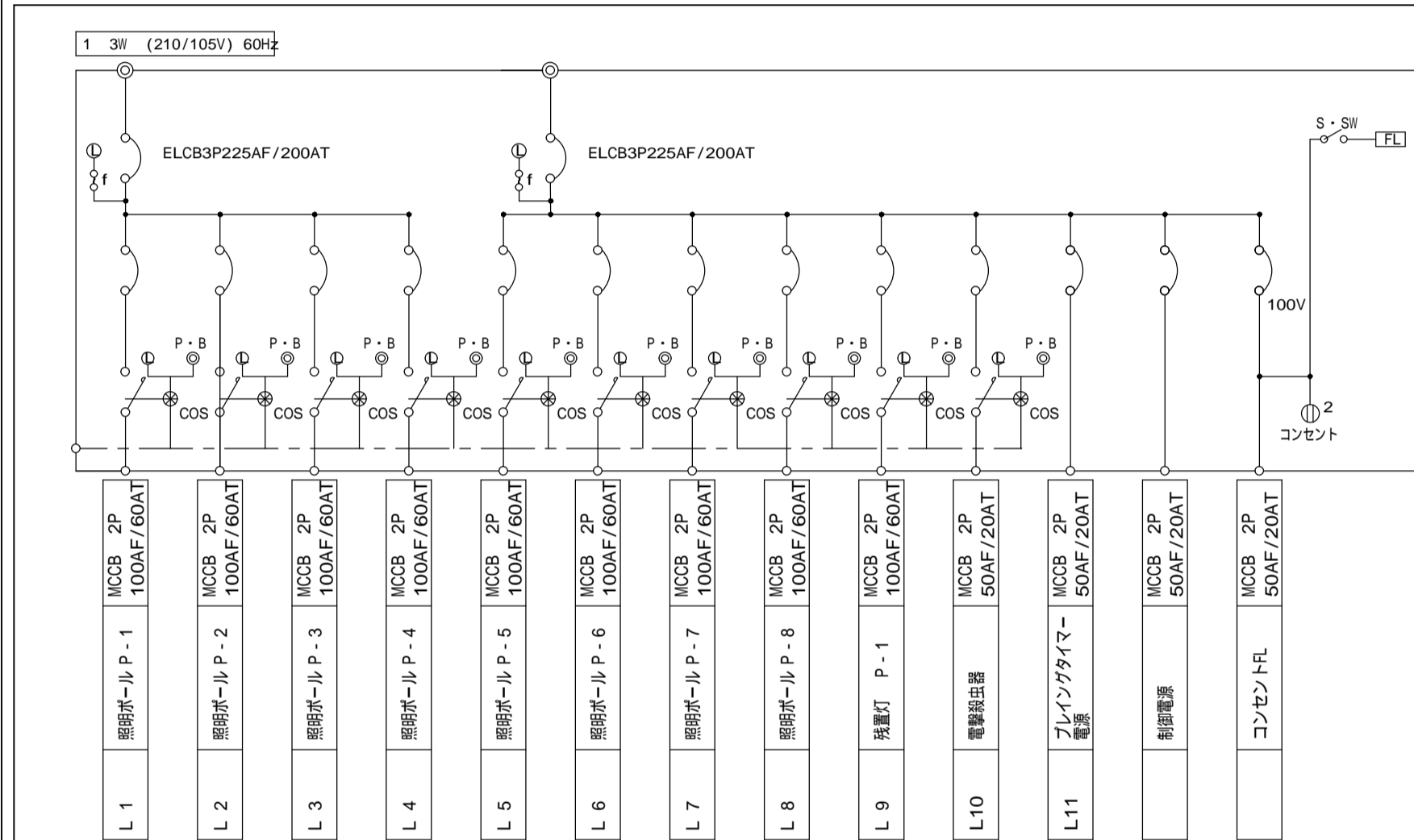
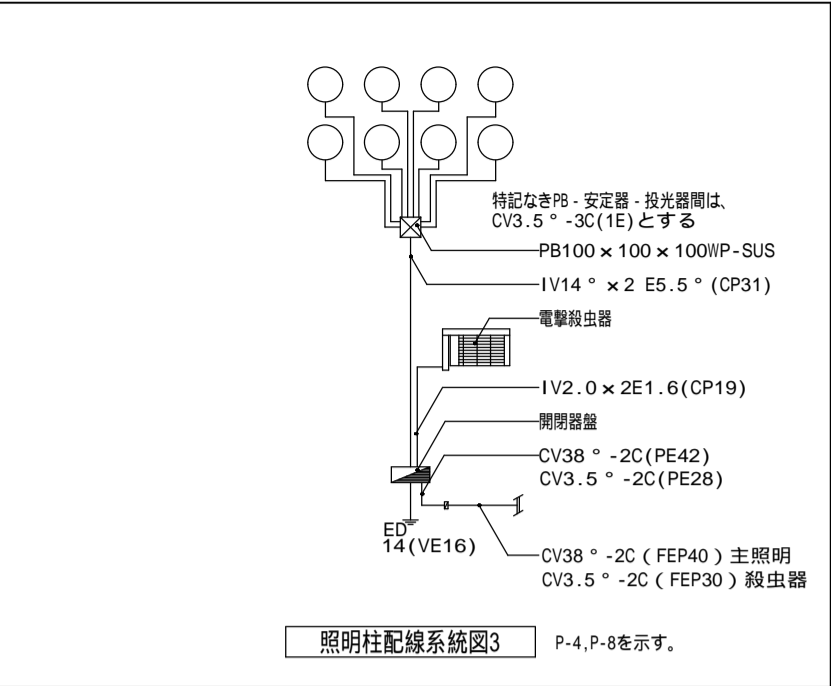
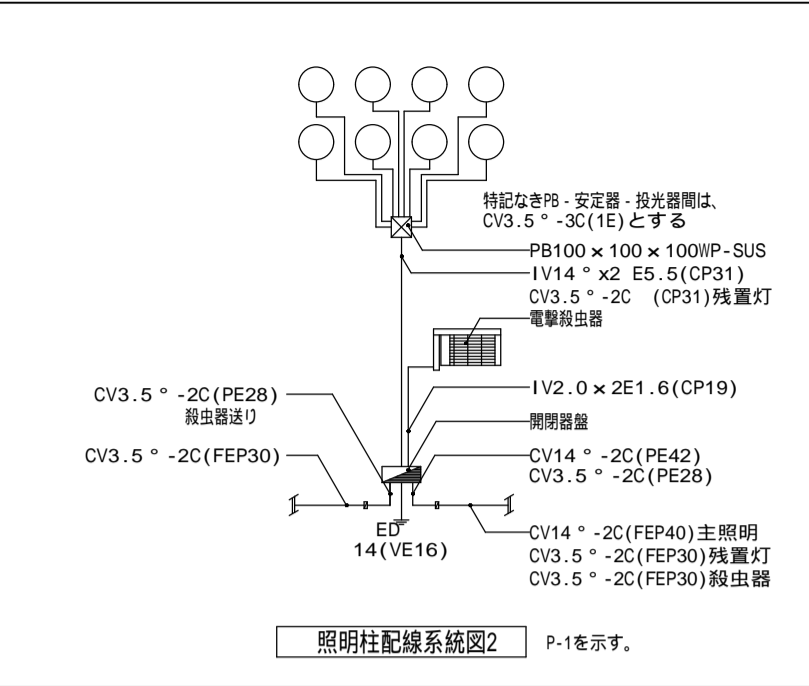
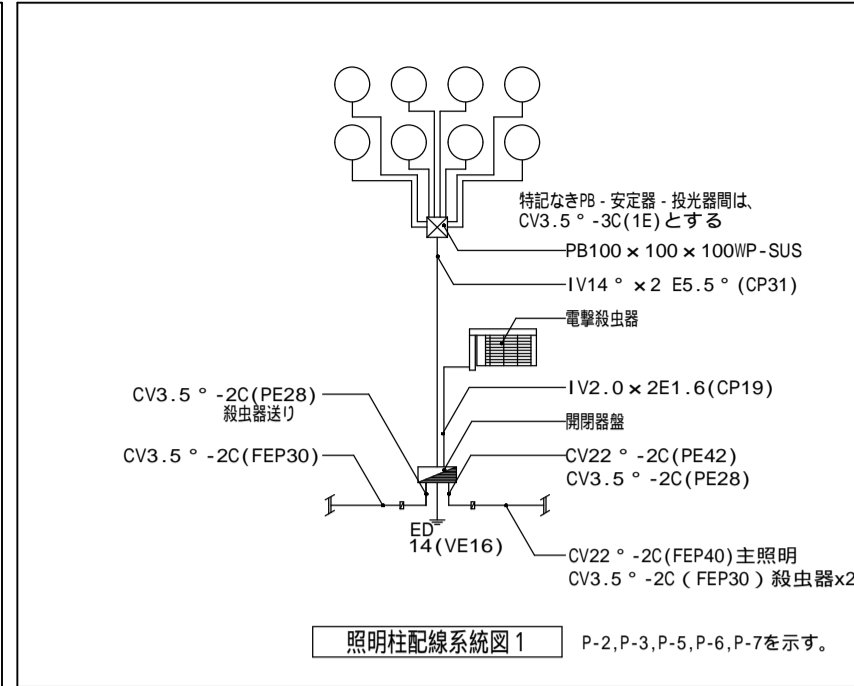
No	機材名称	寸法・仕様	数量	備考
①	コンクリート柱(既設再利用)	16m-22cm-15	1	質量: 2350kg
②	中,広角型投光器	中角型YA55363(M) 広角型YA55626(MF)	8	器具重量: 11.6kg 器具重量: 11.6kg
③	メタルハイドランプ安定器	MS1000B2CA-1	8	
④	投光器取付架台	YK05084	2	質量: 26.5kg
⑤	安定器取付架台	YK05088	4	質量: 0.6kg
⑥	バンド	YK05080	2	
⑦	自在バンド	YK22811	2	
⑧	プルボックス	SS100 × 100 × 100WP-SUS	1	
⑨	照明柱開閉器盤	400W × 520H × 150D	1	鋼板製 屋外露出型
⑩	電撃殺虫器	FL20W × 2	1	

マルチハロゲンランプ仕様

機材名称	寸法・仕様	備考
メタルハイドランプ	M1000B / BH - SC MF1000B / BH - SC	質量: 500g 質量: 500g

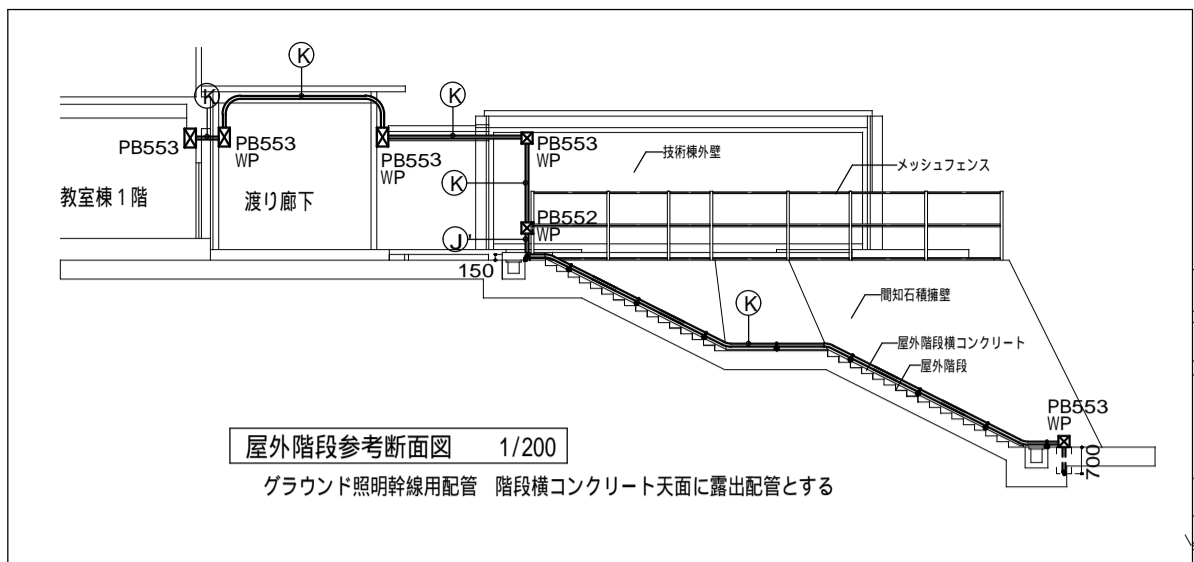
投光器台数

投光器型式	寸法・仕様	台数
中角型	M1000B / BH - SC	48
広角型	MF1000B / BH - SC	16



EM-CE14 ° -2C	(FEP40)	主照明	L1
EM-CE22 ° -2C	(FEP40)	主照明	L2
EM-CE38 ° -2C	(FEP50) × 2	主照明	L3・L4
EM-CE22 ° -2C	(FEP40)	主照明	L2
EM-CE38 ° -2C	(FEP50) × 2	主照明	L3・L4
EM-CE38 ° -2C	(FEP50) × 2	主照明	L3・L4
EM-CE14 ° -2C	(FEP40)	主照明	L5
EM-CE22 ° -2C	(FEP40) × 3	主照明	L6・L7・L8
EM-CE22 ° -2C	(FEP40) × 3	主照明	L6・L7・L8
EM-CE22 ° -2C	(FEP40) × 2	主照明	L6・L7
EM-CE22 ° -2C	(FEP40)	主照明	L8
EM-CE14 ° -2C	(FEP40)	主照明	L5
EM-CE22 ° -2C	(FEP40) × 3	主照明	L6・L7・L8
EM-CET100 ° E22 °	(FEP80)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET100 ° E22 °	(FEP80)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET100 ° E22 °	(FEP50) × 4	予備	
EM-CET100 ° E22 °	(G70LT)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET100 ° E22 °	(G70)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET100 °		(L13)	グラウンド照明幹線
EM-IE22 ° × 2	ZM-300A	接地母線	
EM-CET100 °		(L13)	グラウンド照明幹線
EM-IE22 ° × 2	既設7ヶ所	接地母線	
EM-CET100 ° E22 ° × 2	(E75)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET150 °	既設7ヶ所	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-IE22 ° × 2	既設7ヶ所	接地母線	
EM-CET150 ° E38 ° × 2	(FEP80)	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-CET150 °	既設7ヶ所	(L13)	グラウンド照明幹線
EM-IE38 ° × 2	既設7ヶ所	接地母線	

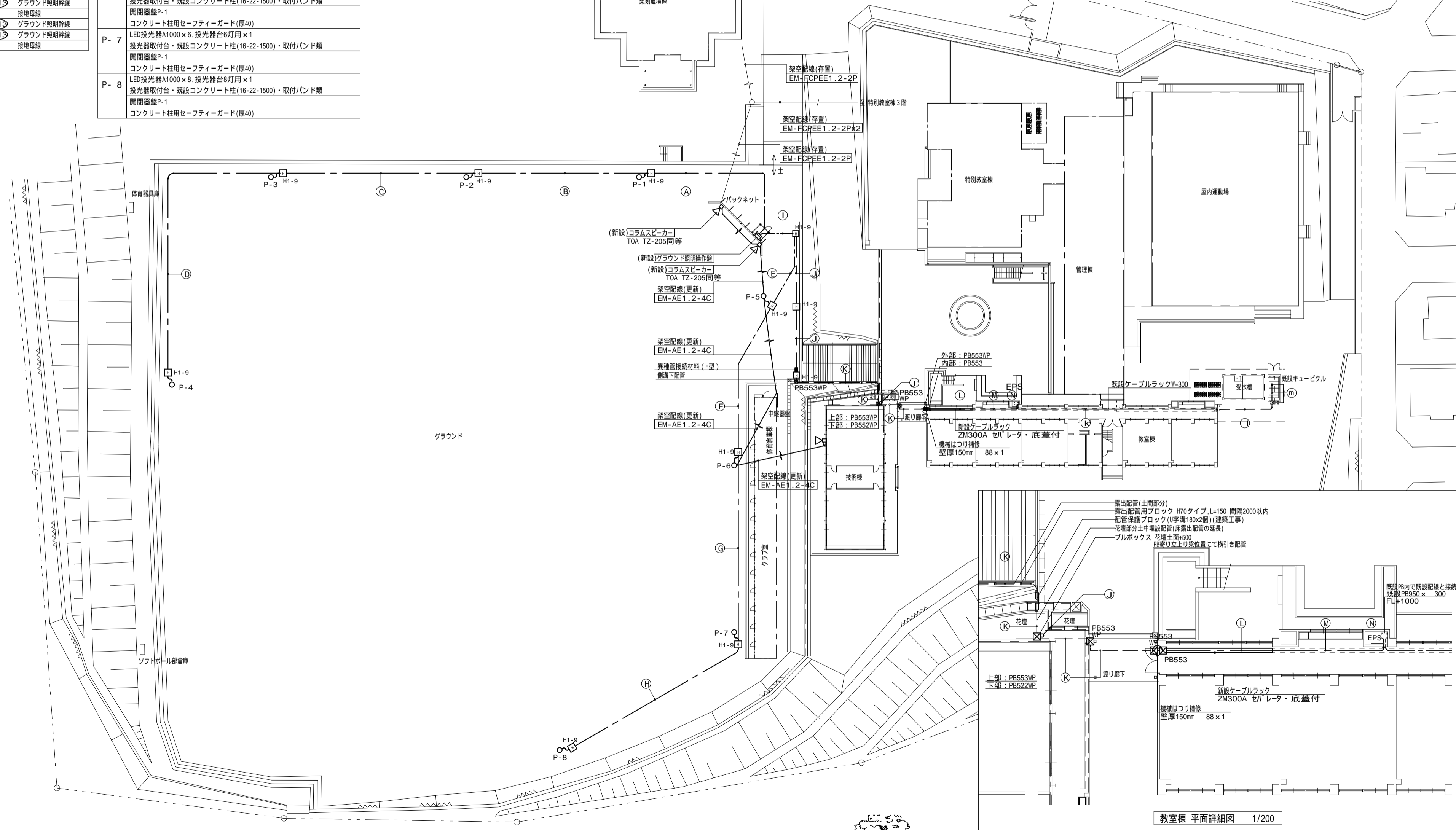
照明柱 装柱リスト			
P-1	LED投光器B1000×6, 投光器台6灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-2	LED投光器A1000×6, 投光器台6灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-3	LED投光器A1000×8, 投光器台8灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-4	LED投光器A1000×8, 投光器台8灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-5	LED投光器B1000×6, 投光器台6灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-6	LED投光器A1000×6, 投光器台6灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-7	LED投光器A1000×6, 投光器台6灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		
P-8	LED投光器A1000×8, 投光器台8灯用×1 投光器取付台・既設コンクリート柱(16-22-1500)・取付バンド類 開閉器盤P-1 コンクリート柱用セフティーガード(厚40)		

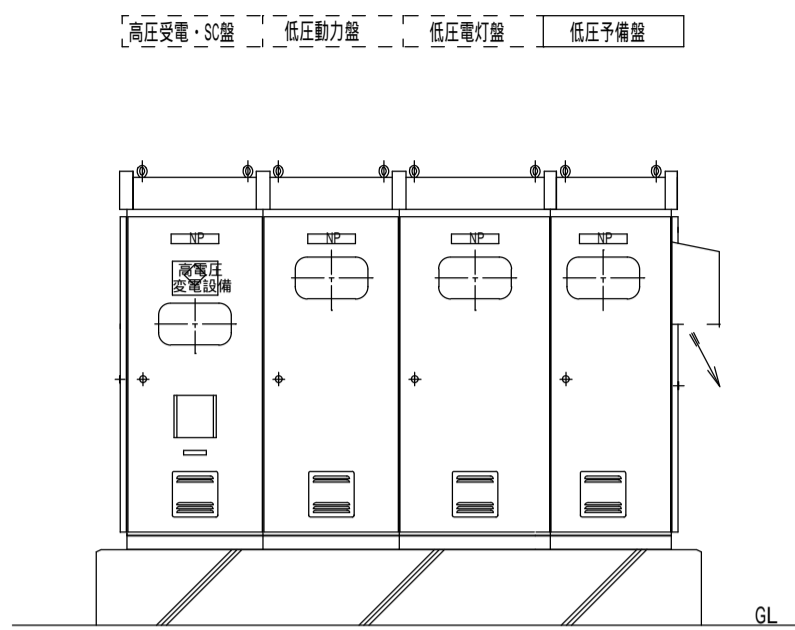


屋外階段参考断面図 1/200
グラウンド照明幹線用配管 階段横コンクリート天面に露出配管とする

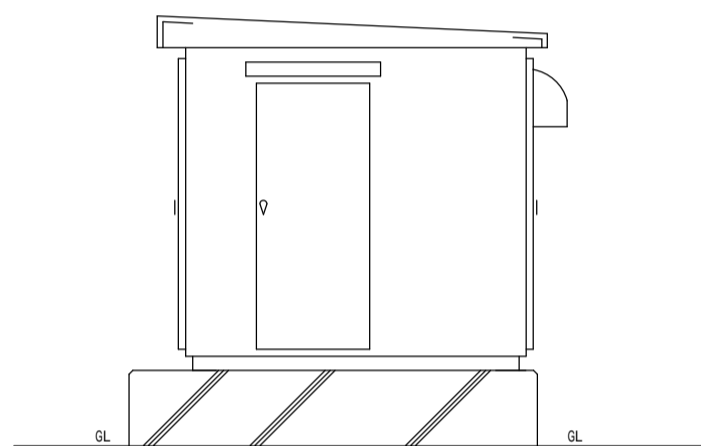
(凡 例)			
○	照明柱	名称	既設
○	防犯灯 LED		新設
○	ホーンスピーカー		新設
□	H1-9	ハンドホール H1-9	蓋付 新設 ノンスリップ仕様(カネソー-W01-2両側)
□	H2-9	ハンドホール H2-9	蓋付 新設 ノンスリップ仕様(カネソー-W01-2両側)
□	SS500	ブルボックス SS500×500×300-SUS	新設
□	SS500	ブルボックス SS500×500×200WP-SUS	新設
□	SS500	ブルボックス SS500×500×300WP-SUS	新設
□	ZM300A	ケーブルラック ZM300A 8ヶ所・底蓋付	新設
---		地中配線	
---		床下配線	
---		露出配線	
---		立上り	
---		114系区画 貫通部	標準図参照

(注 記)
1. 図中特記なき記号太線は改修を示す。
2. 細線は既設工事対象外を示す。

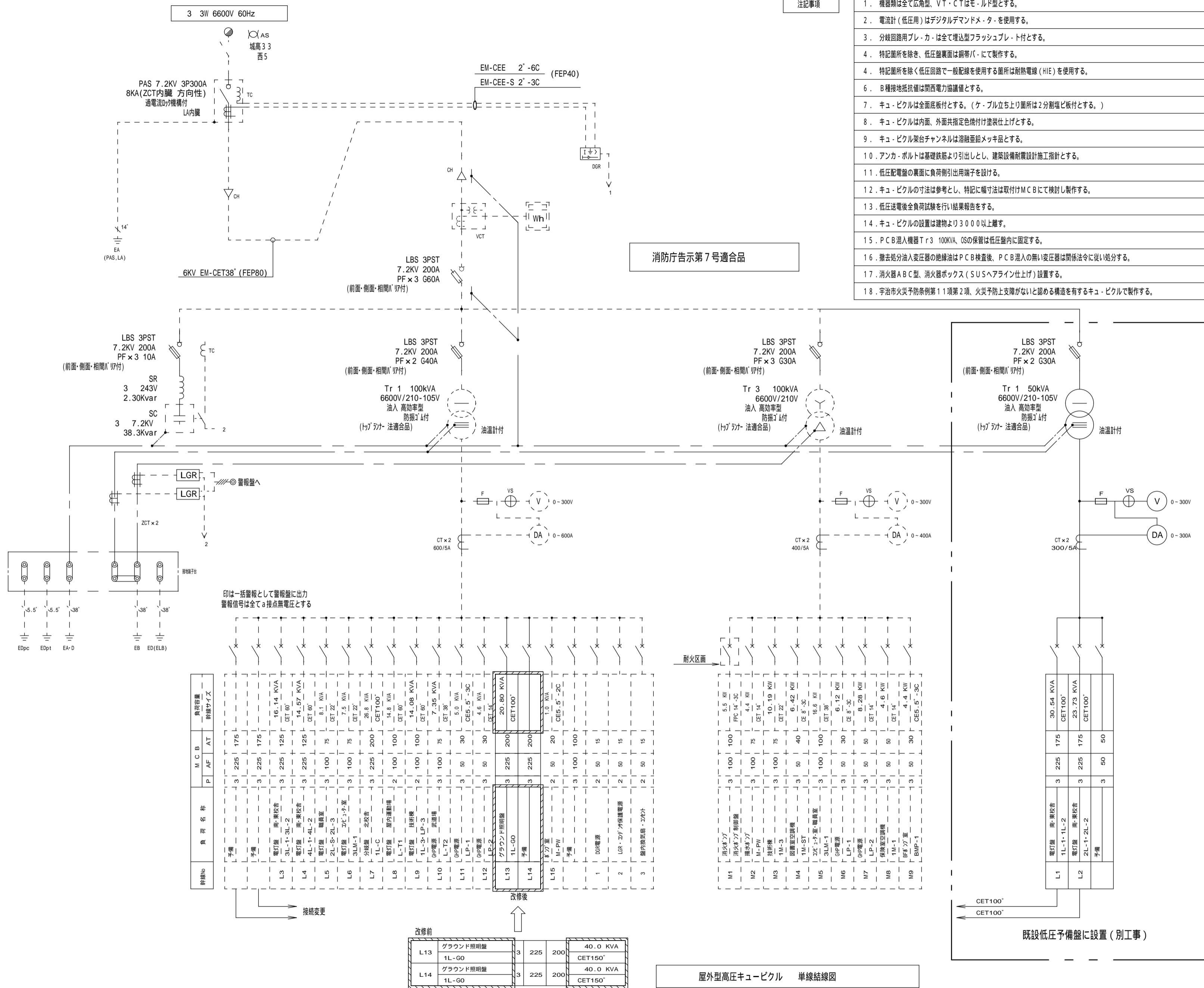




屋外型キュービクル正面図・基礎図



屋外型キュービクル側面図・基礎図

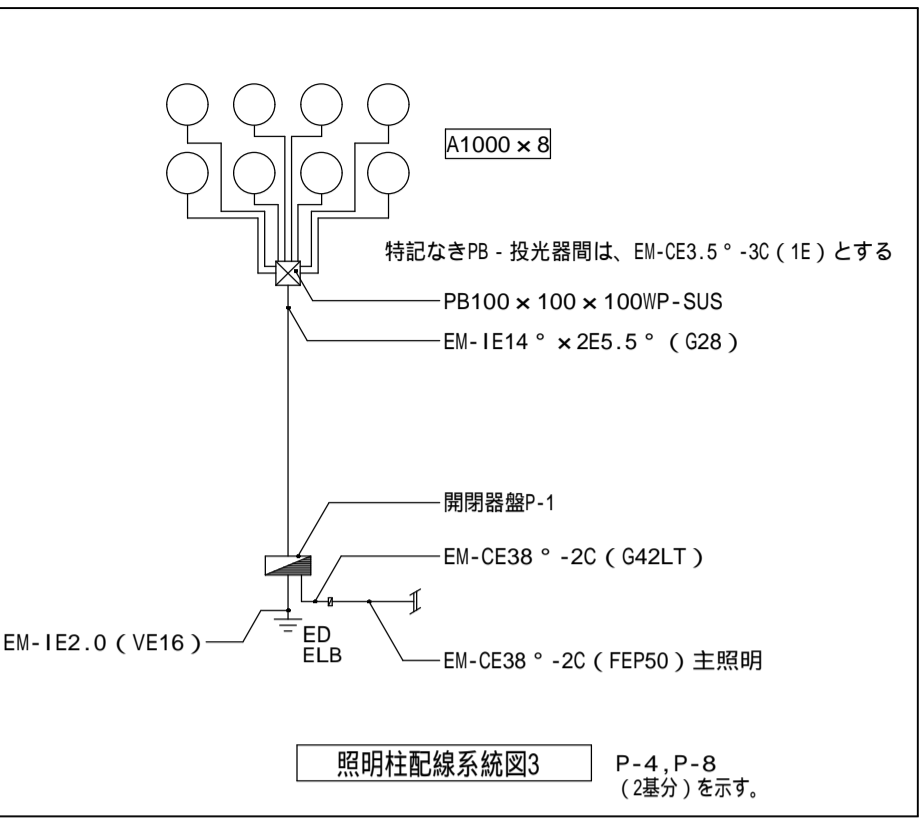
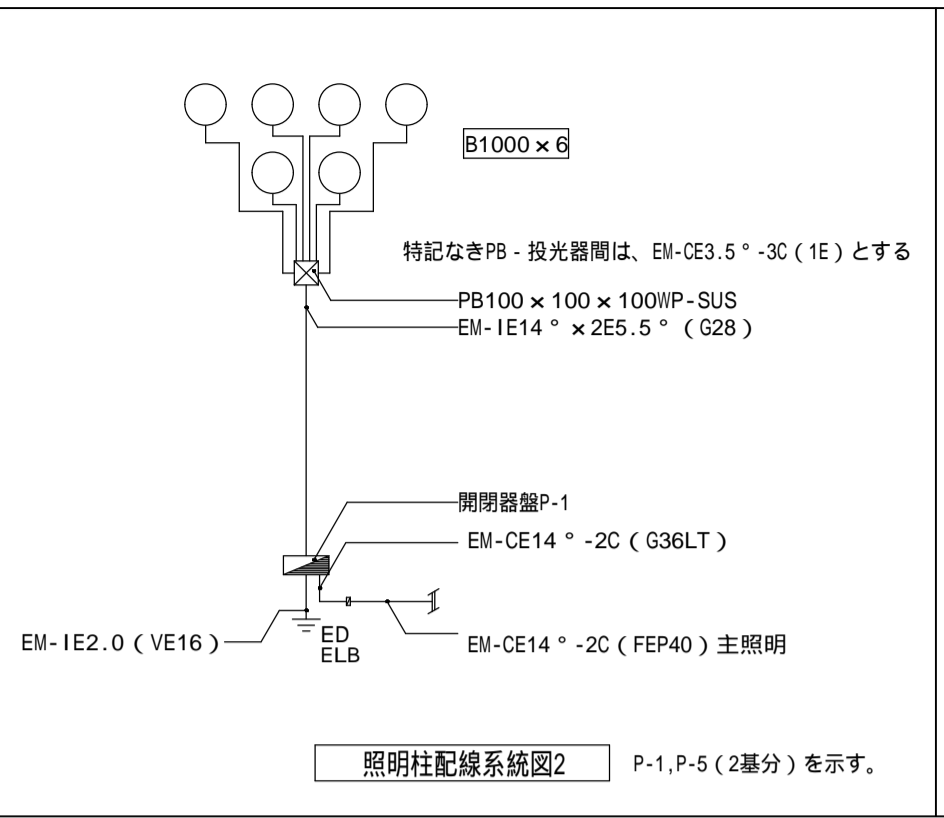
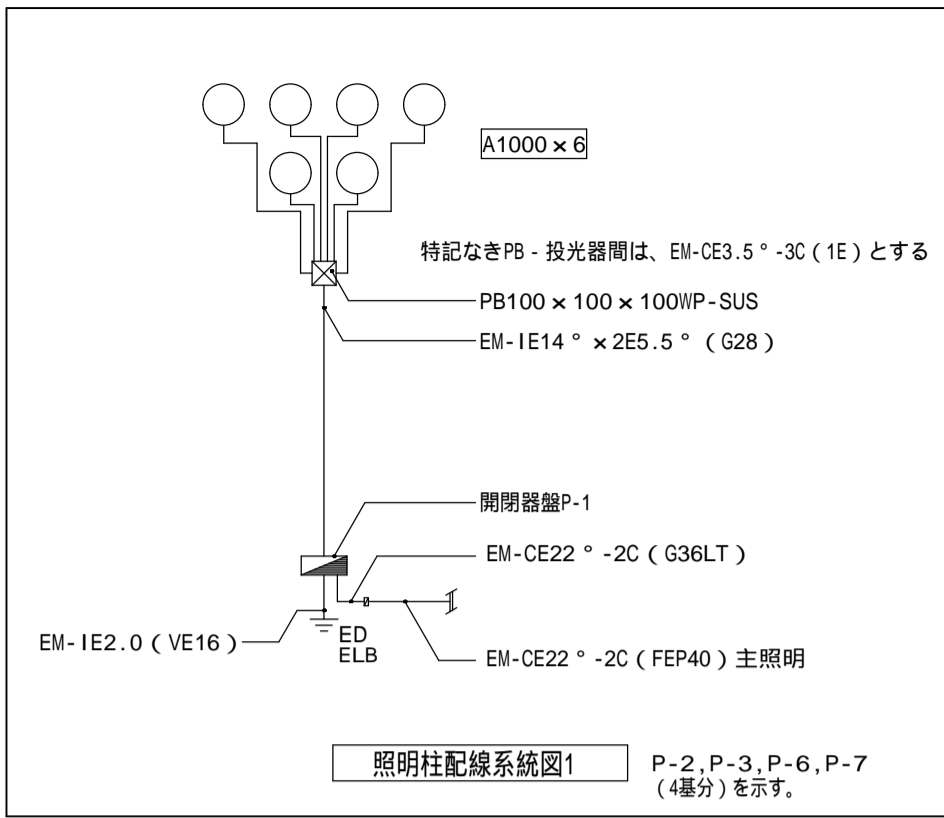


屋外型高圧キュービクル 単線結線図

注記事項

1. 機器類は全て広角型、VT・CTはモールド型とする。
2. 電流計(低圧用)はデジタルダイヤモンドメータを使用する。
3. 分岐回路用ブレーカは全て準圧型フラッシュプレート付とする。
4. 特記箇所を除き、低圧盤裏面は銅帯ハにて製作する。
5. 特記箇所を除く低圧回路で一般配線を使用する箇所は耐熱電線(HIE)を使用する。
6. B種接地抵抗値は関西電力協議値とする。
7. キュービクルは全面底板付とする。(ケルピル立ち上り箇所は2分割底板付とする。)
8. キュービクルは内面、外面共指定色焼付け塗装仕上げとする。
9. キュービクル架台チャンネルは溶融亜鉛メッキ品とする。
10. アンカボルトは基礎鉄筋より引出しとし、建築設備耐震設計施工指針とする。
11. 低圧配電盤の裏面に負荷側引出用端子を設ける。
12. キュービクルの寸法は参考とし、特記に幅寸法は取付けM C Bにて検討し製作する。
13. 低圧送電後全負荷試験を行い結果報告をする。
14. キュービクルの設置は建物より3000以上離す。
15. P C B混入機器Tr 3 100KVA、OSの保管は低圧盤内に固定する。
16. 撤去処分油入変圧器の絶縁油はP C B検査後、P C B混入の無い変圧器は関係法令に従い処分する。
17. 消火器A B C型、消火器ボックス(SUSヘアライン仕上げ)設置する。
18. 宇治市火災予防条例第11項第2項、火災予防支障がないと認められる構造を有するキュービクルで製作する。

消防庁告示第7号適合品

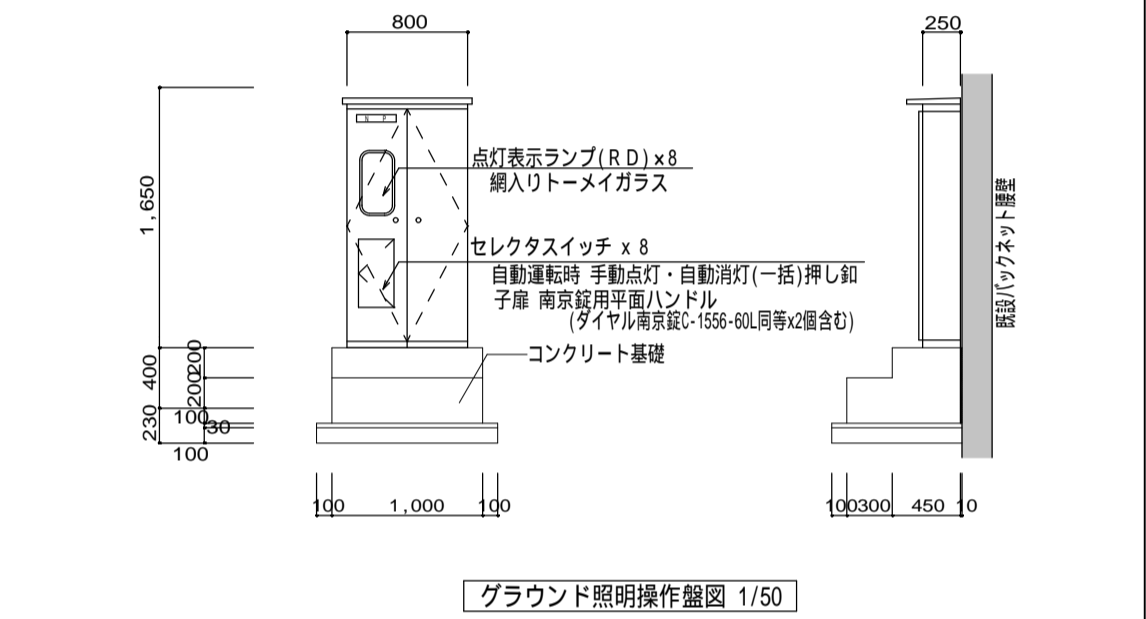
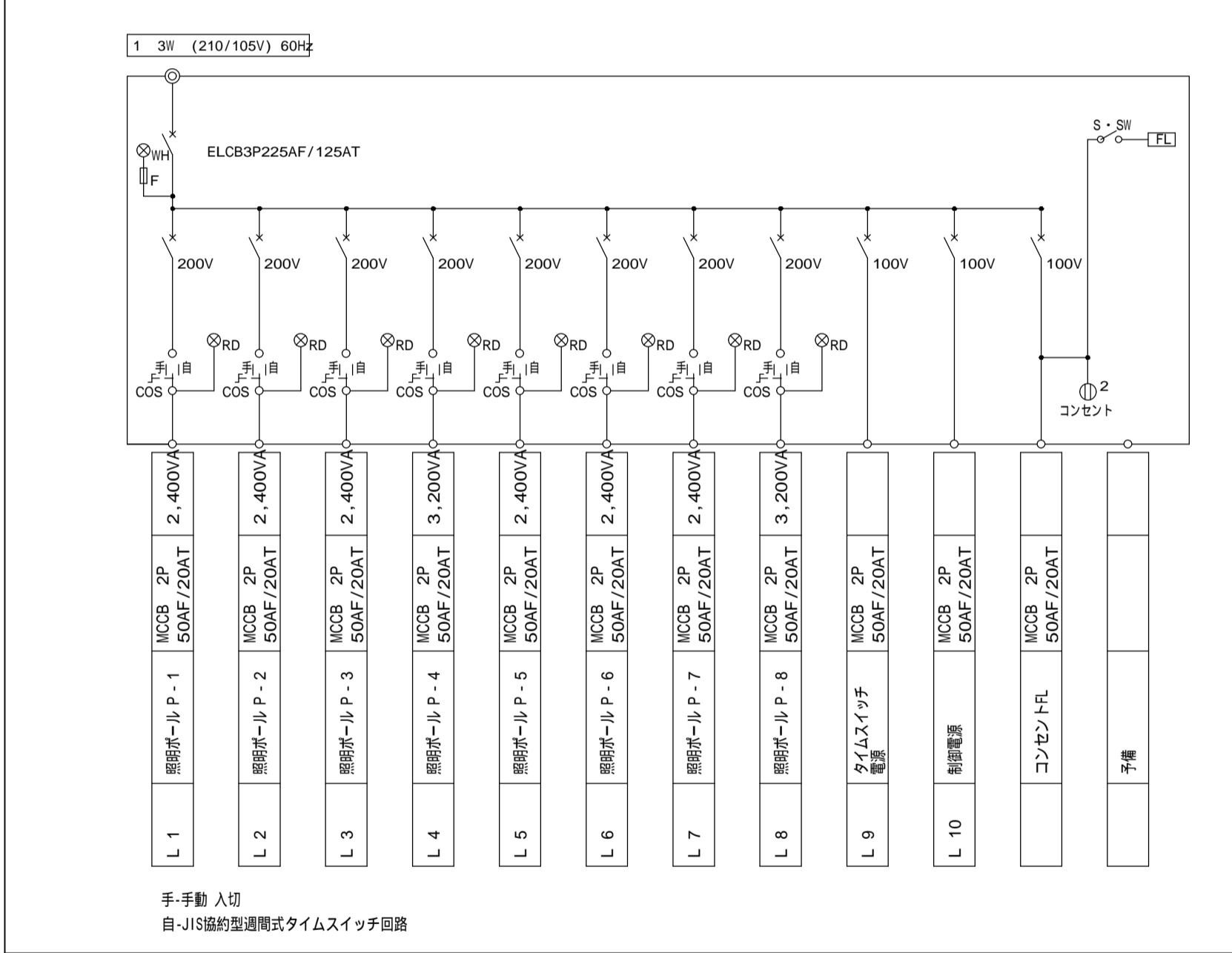


JIS協約型週間式タイムスイッチ

定格電圧	AC100-240V
動作周期	週間式
回路数	1回路
回路構成	別回路(無電圧出力)、1c
出力方式	タイマー/インターバル/パルス 切替
抵抗負荷	15A
停電補償時間	10年間

TB262101N

グラウンド照明操作盤結線図

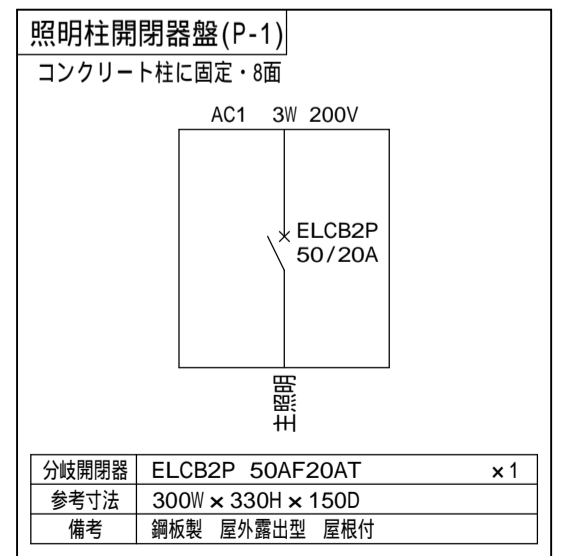


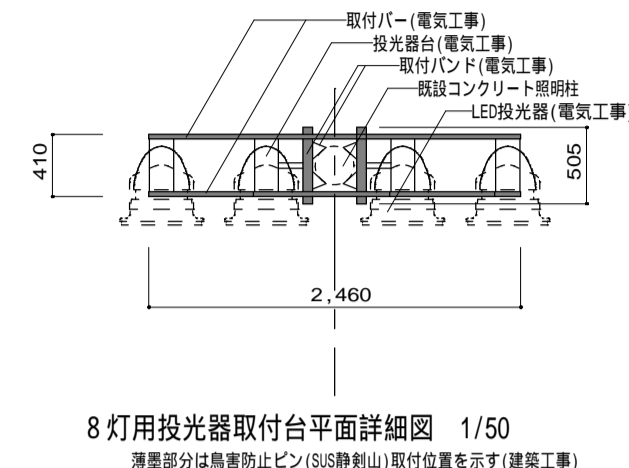
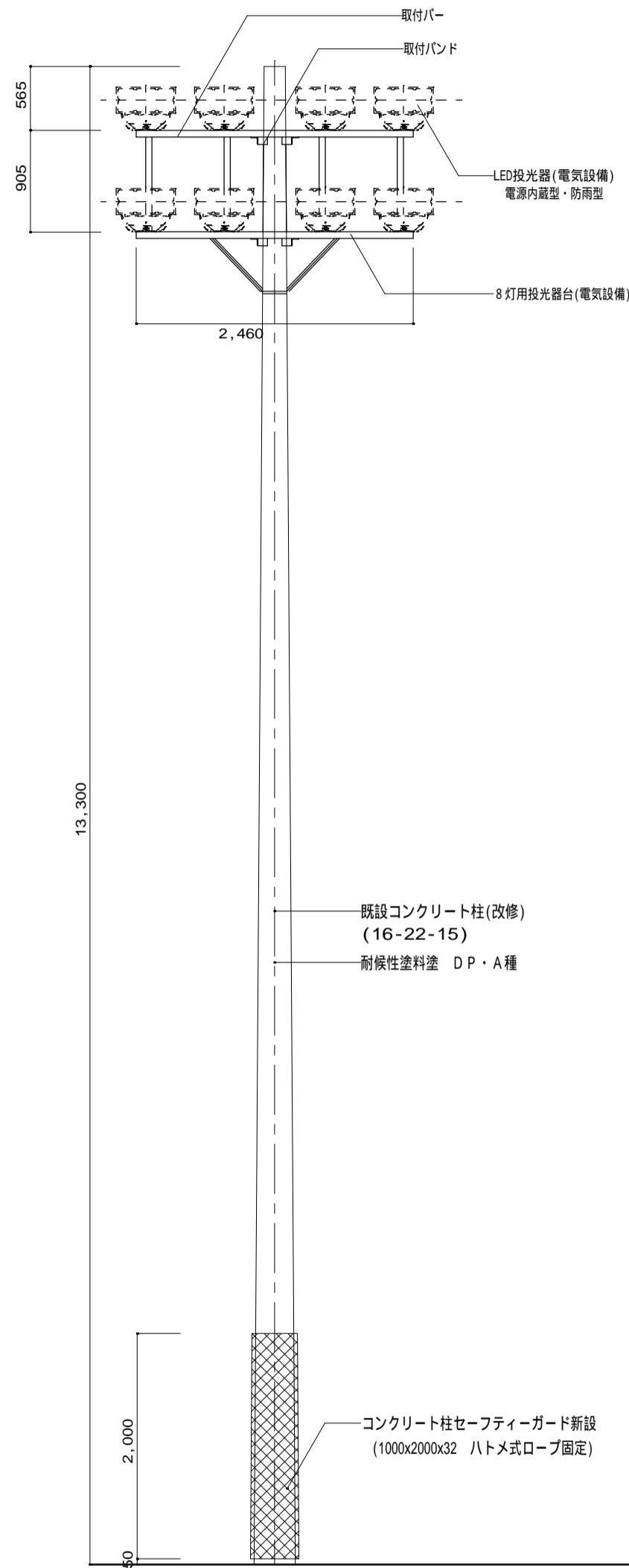
盤名称	グラウンド照明操作盤
キャビネット型式	V(WP)
種別	常用回路
電気方式	相線 1 3W
	電圧 210/105
負荷容量 (VA)	20,800
主幹器具	定格電流 125A
	遮断電流 5kA以上
設置場所	屋外グラウンド

主開閉器	ELCB3P 225AF125AT	x1
分枝開閉器	MCCB2P1E 50AF20AT	x3
	MCCB2P2E 50AF20AT	x8
内器	週間式タイムスイッチ	x1
	セレクトスイッチ	x8
参考寸法	800W x 1650H x 250D 鋼板製 屋外露出型 指定色塗装	

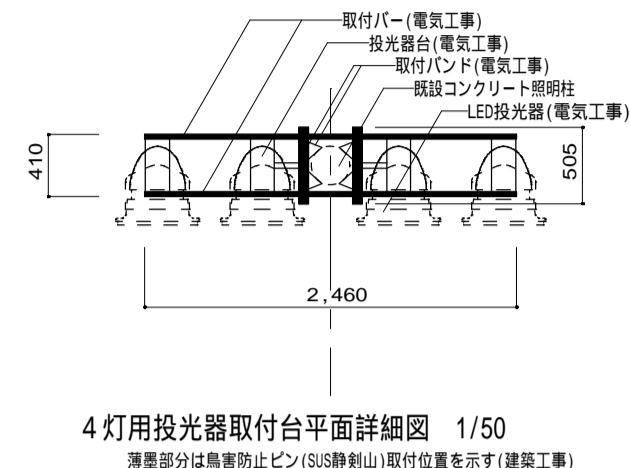
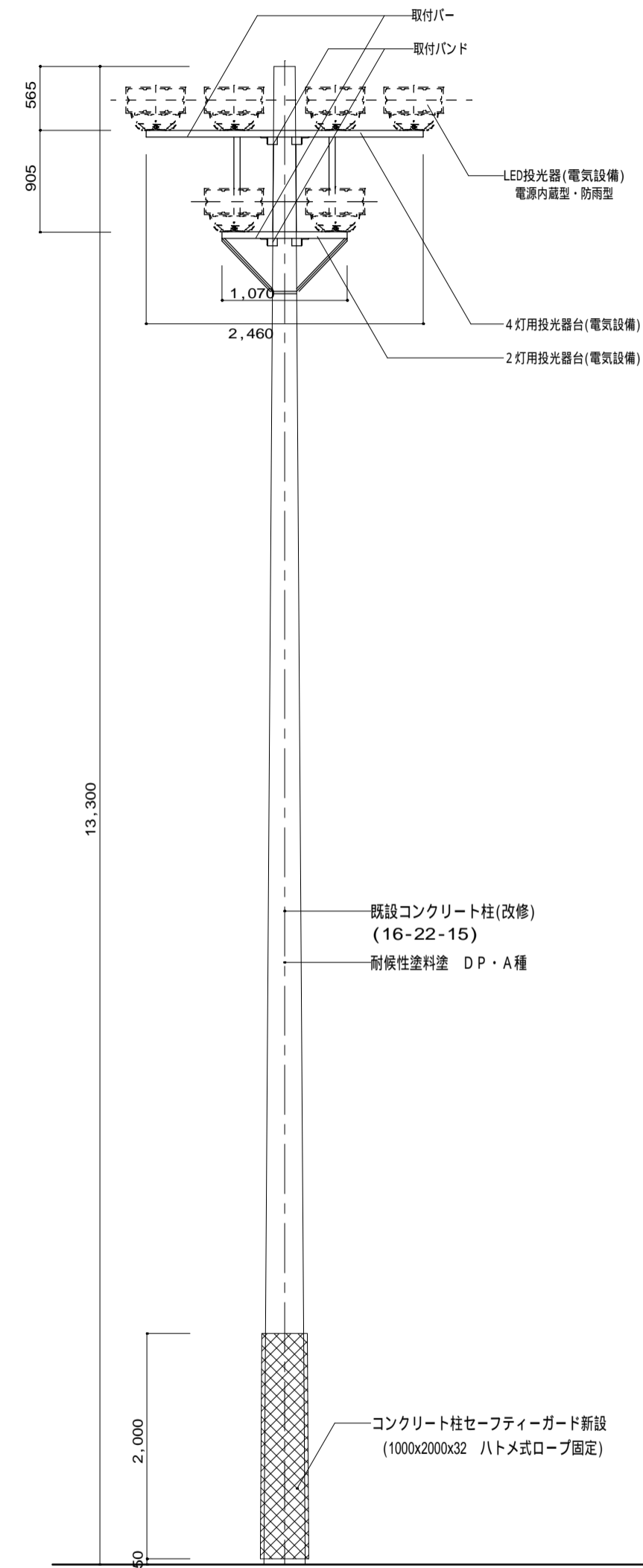
照明器具姿図

A1000 投光器 中角タイプ	B1000 投光器 広角タイプ	C21 防犯灯
定格光束: 50000lm以上 消費電力: 400W以下	定格光束: 50000lm以上 消費電力: 400W以下	定格光束: 700lm以上 消費電力: 10W以下
LED制御装置: 一般形 LED内蔵, 電源ユニット内蔵	LED制御装置: 一般形 LED内蔵, 電源ユニット内蔵	LED制御装置: 一般形 LED内蔵, 電源ユニット内蔵
本体: アルミ, 前面パネル: ポリカーボネート(透明)	本体: アルミ, 前面パネル: ポリカーボネート(透明)	本体: ASA樹脂(クールホワイト) 前面パネル: アクリル
アーム: 鋼材(溶融亜鉛メッキ), ハンドル: ステンレス	アーム: 鋼材(溶融亜鉛メッキ), ハンドル: ステンレス	昼白色, 5500K, Ra80, 電圧100V
昼白色, 5000K, Ra70, 電圧200~242V	昼白色, 5000K, Ra70, 電圧200~242V	防まつ型, 明るさセンサ内蔵, 保護等級: IP44, 雷サージ15kV
光害対策・防眩仕様, 重耐塩害仕様, 保護等級: IP65	光害対策・防眩仕様, 重耐塩害仕様, 保護等級: IP65	参考品番: NNY20338LE1 (パナソニック)
中角配光タイプ, 耐風速60m/s, 落下防止ワイヤー付	広角配光タイプ, 耐風速60m/s, 落下防止ワイヤー付	
参考品番: 投光器NYS30537KLE2 (LPJ1M-500LJ)	参考品番: 投光器NYS30547KLE2 (LPJ1W-500LJ)	
参考品番: 投光器台8灯用 XDYK2800 (パナソニック)	参考品番: 投光器台XDYK2600 (パナソニック)	
参考品番: 投光器台6灯用 XDYK2600 (パナソニック)		

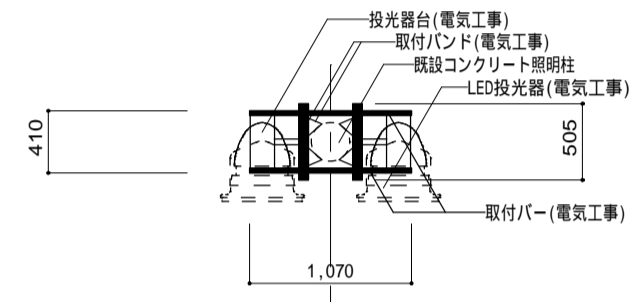




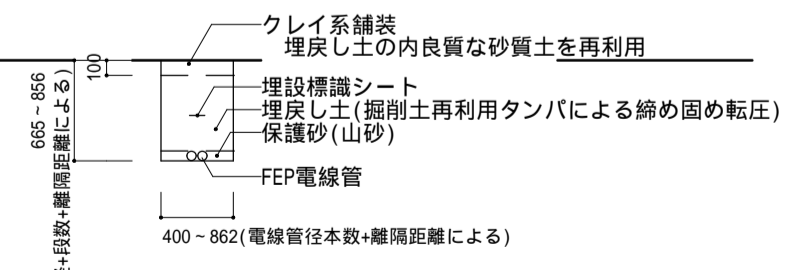
8灯用投光器取付台平面詳細図 1/50
薄層部分は鳥害防止ピン(SUS静刺山)取付位置を示す(建築工事)



4灯用投光器取付台平面詳細図 1/50
薄層部分は鳥害防止ピン(SUS静刺山)取付位置を示す(建築工事)



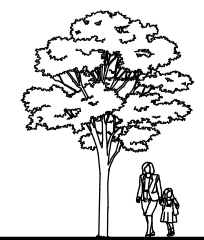
2灯用投光器取付台平面詳細図 1/50
薄層部分は鳥害防止ピン(SUS静刺山)取付位置を示す(建築工事)



電線管理設標準図 1/50
クレイ舗装は国土省 公園緑地工事共通仕様書による砂質土と土壌改良材を混合敷均し転圧する。

既設グラウンド照明柱(8灯タイプ) 1/50

既設グラウンド照明柱(6灯タイプ) 1/50



建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他
グラウンド面積 10,842.0m²(夜間照明対象面積)

【2】 適用範囲
現場説明書(質疑回答を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。

上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)をいう。(以下、これを「改修標仕」という。)

本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分
設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
- 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
- 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項																								
1 一般 共通 事項	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																								
	風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(V ₀) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり																								
	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																								
	工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週()曜日提出する。																								
	工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																								
	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																								
	施工図等の取扱い (1.2.3)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡される。																								
	工事写真 (1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 下記のものに監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>着工前</th> <th>部数(ネガ1枚につき)</th> <th>分類・規格</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td rowspan="2">2</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>カラーキャビネ版</td> <td>60×70以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外観</td> <td rowspan="2">2</td> <td>カラーキャビネ版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>カラーパネル半切</td> <td>60×70以上</td> </tr> </tbody> </table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。	着工前	部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)	1	1	カラーサービス版	24×36以上	1	1	カラーサービス版	24×36以上	完成時	2	カラーサービス版	24×36以上	カラーキャビネ版	60×70以上	外観	2	カラーキャビネ版	24×36以上	カラーパネル半切	60×70以上
	着工前	部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)																						
	1	1	カラーサービス版	24×36以上																						
	1	1	カラーサービス版	24×36以上																						
完成時	2	カラーサービス版	24×36以上																							
		カラーキャビネ版	60×70以上																							
外観	2	カラーキャビネ版	24×36以上																							
		カラーパネル半切	60×70以上																							
11 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																									
施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																									
発生材の処理等 (1.3.12)	引渡しを要するもの () 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの () 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分 () 自由処分 (最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 () 特別管理産業廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 廃石綿の処分地 (東京都環境保全公社瑞穂センター)	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器										
種類	処理方法																									
廃石綿等																										
P C Bを含む機器類																										
P C B含有シーリング																										
廃油																										
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																										
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																										
S F 6ガス使用機器																										
せつこうボードの処理方法	石綿含有せつこうボードの処理 改修標仕9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせつこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせつこうボードの処理 最終処分 再資源化																									

章	項目	特記事項																																								
14 石綿含有 建材の調査 (1.5.1)	14 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	① P C B含有シーリング材の分析調査 行う()箇所 行わない P C B含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手 再生資源利用[促進]計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。 マニフェスト制度 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。 調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない 石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) J I S A 1481に基づくこと <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし	材料名	定性分析	定量分析	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()																									
	材料名	定性分析	定量分析																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	()	()	()																																							
	15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
	16 技能士 (1.7.2)	② <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事</td> <td>ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業</td> </tr> <tr> <td>ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事</td> <td>金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業	ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事	金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業	防水工事	ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業	植栽工事	造園工事作業
	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
	仮設工事	とび作業																																								
	鉄筋工事	鉄筋組立作業																																								
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																									
ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業																																									
ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事	金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業																																									
防水工事	ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工事作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業																																									
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																									
内装工事	ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業																																									
植栽工事	造園工事作業																																									

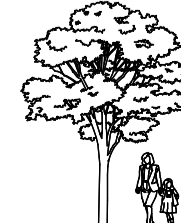
章	項目	特記事項	
1 一般 共通 事項	17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する() 適用しない	
	18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)	
	19 完成図 (1.9.2)	作成する 青張り製本2部(詳細は監督職員の指示による。) 機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書 諸官庁提出書類(副本) A4版一式 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。	
	20 保全に関する資料 (1.9.3)	作成する(提出部数 2部 ()部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。	
	① その他	安全柵 朝日PCフェンスA2000・片開扉W1000・金網 3.2x56mm300g鍍金鉄線、又は同等製品とする。 隅部(1ヶ所)保安灯(防犯灯)取付柱は、 60.5x3.2・H=2100とし片開扉吊元とする。	
	2 仮設 工事	1 足場その他 (2.1.3)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
		(2.2.1) 外部足場	施行箇所面に枠組足場を設ける。 施行箇所面に手摺先行型くさび緊結式足場を設ける。(W900) 施行箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。
		内部足場	脚立、足場板等
		防護シート等	防音パネル 防音シート ○養生シート ネット及び養生シート
		材料、撤去材等の運搬方法	A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1) 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中横及び幅木の機能を有する足場とし足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋根組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。 墜落制止用器具の使用 について 受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める
		② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板 ()) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート ()) 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う (図示) 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
3 仮設間仕切り (2.3.2)		○ 設ける (図示)	
4 監督職員事務所 (2.4.1)		規模 10m ² 程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 びく床シート敷き ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ敷き 内壁、天井 合板又はせつこうボード張り、合成樹脂珪藻土塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける(畳敷き) 備品 机 いす 保潔機 ゴム靴 雨がっぱ 衣類 (上記6品、____人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕(令和4年版) 建築改修工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)	

章	項目	特記事項
① 一般 共通 事項	適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 令和7年改定 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 令和4年改定 (監修:国土交通省) 建築構造設計基準、同資料 令和7年改定 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版 (監修:国土交通省) 公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版 (監修:国土交通省) 注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す
	建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認がったものとすることができる。(評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート(ﾌﾗｯｸﾞﾃｯﾌﾟ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ)、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル、既製調合モルタル(ﾀｲﾙ工用)、既製調合目地材、ﾙｰﾌﾞﾄﾞﾚﾝ、吸水調整材(ﾀｲﾙ用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(ｼｯｼﾞ箱錠、ﾄﾞｰﾙﾄﾞﾙ錠、ｼｯｼﾞ本錠り錠)、クローザー類(ﾄﾞｰﾙｸﾞｰ、ﾋﾝｼﾞｸﾞｰ、ﾌﾞﾛｯｼﾞ)、自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、ｵｰﾊﾞｰﾊｯﾄﾞﾄﾞｱ、ﾌﾞﾗｽ(ﾌﾞｰﾄﾞ板ｸﾞﾗｽ、型板ｸﾞﾗｽ、網入板ｸﾞﾗｽ・線入板ｸﾞﾗｽ、熱線吸収板ｸﾞﾗｽ、倍強度ｸﾞﾗｽ、熱線反射ｸﾞﾗｽ)、ガラスブロック(中空)、防水剤、現場発泡断熱材、ﾌｰｰｽﾄｯﾌﾟ(3000N、5000N)、可動間仕切り、移動間仕切り(ｽﾗｲﾄﾞｲﾝｸﾞﾄﾞｱ)、ﾄｲﾚｯｽ、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた(マンホールふた・弁掛ふた)

章	項目	特記事項																
11 電気保安 技術者 (1.3.3)	11 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																
	施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																
	発生材の処理等 (1.3.12)	引渡しを要するもの () 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの () 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分 () 自由処分 (最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 () 特別管理産業廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 廃石綿の処分地 (東京都環境保全公社瑞穂センター)	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器	
	種類	処理方法																
	廃石綿等																	
	P C Bを含む機器類																	
	P C B含有シーリング																	
	廃油																	
	廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																	
	廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																	
	S F 6ガス使用機器																	
せつこうボードの処理方法	石綿含有せつこうボードの処理 改修標仕9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせつこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせつこうボードの処理 最終処分 再資源化																	

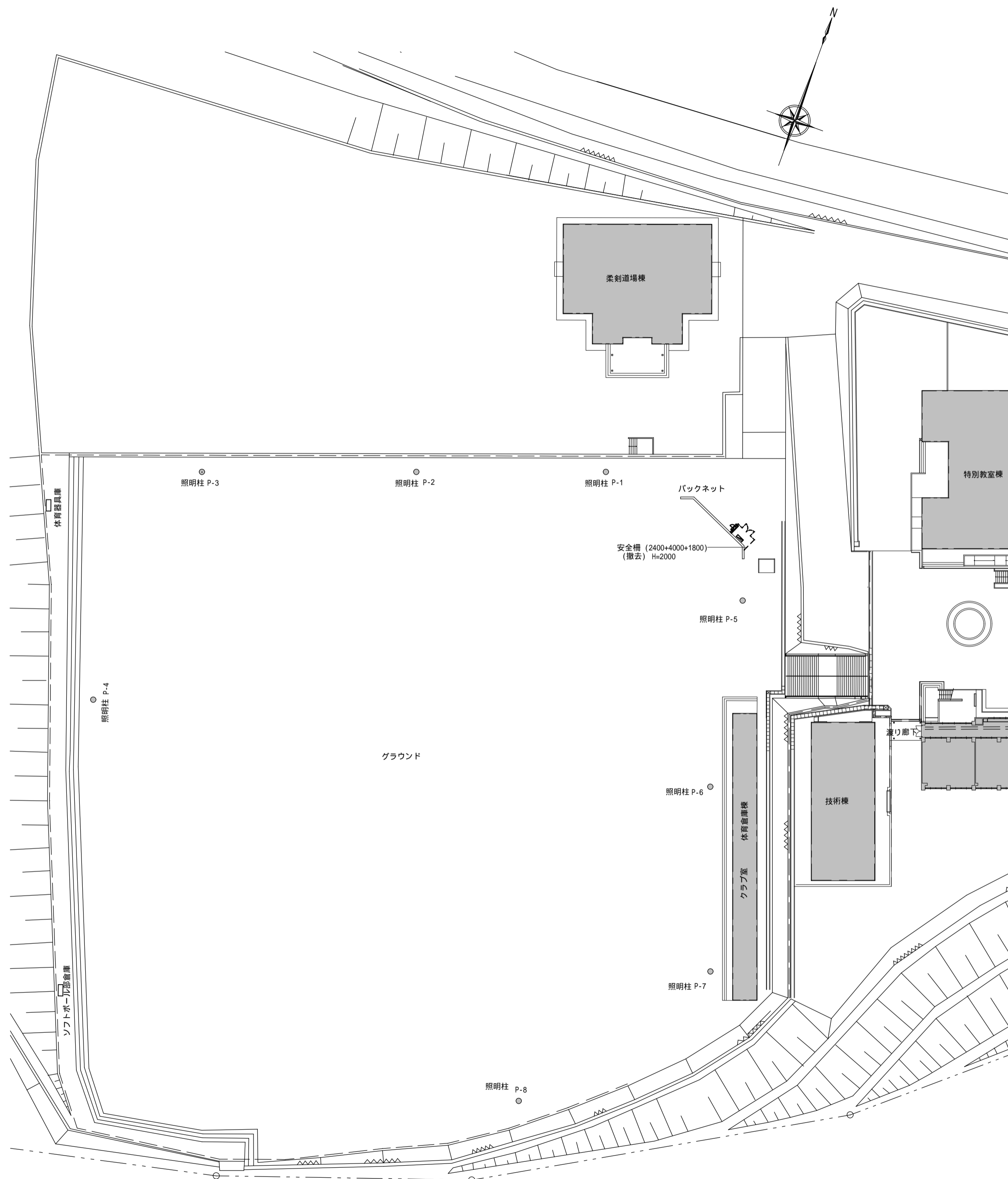
章	項目	特記事項																																								
15 調査のための 破壊部分の 補修 (1.6.3)	15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
	16 技能士 (1.7.2)	② <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事</td> <td>ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業</td> </tr> <tr> <td>ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事</td> <td>金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業	ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事	金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業	防水工事	ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業	植栽工事	造園工事作業
	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
	仮設工事	とび作業																																								
	鉄筋工事	鉄筋組立作業																																								
	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業																																								
	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																								
	ﾌﾞﾛｯｸ及びALCA 補工事	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ALCA 補工事作業																																								
	ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ工事	金属製ｶﾝｸﾞﾘｰﾄ施工作業 ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業																																								
	防水工事	ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 シｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ｴﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 ｾﾂﾄﾞ系防水工事作業 ｱｸﾘﾙｸﾞﾙﾐ系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ｸﾞﾙﾐ系ｼｰﾄ防水工事作業 塩化ﾋﾞｼﾞﾞﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄｰﾆｰ工法防水工事作業																																								
	石工事	石張り作業																																								
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工事作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業																																									
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																									
内装工事	ﾌﾞﾗｯｼﾞｯｸ系床仕上げ工事作業 ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業 加熱ﾊﾞｲﾄﾞﾝﾄﾞｰｶｰ工事作業																																									
植栽工事	造園工事作業																																									

章	項目	特記事項	
1 一般 共通 事項	17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する() 適用しない	
	18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)	
	19 完成図 (1.9.2)	作成する 青張り製本2部(詳細は監督職員の指示による。) 機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書 諸官庁提出書類(副本) A4版一式 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。	
	20 保全に関する資料 (1.9.3)	作成する(提出部数 2部 ()部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。	
	① その他	安全柵 朝日PCフェンスA2000・片開扉W1000・金網 3.2x56mm300g鍍金鉄線、又は同等製品とする。 隅部(1ヶ所)保安灯(防犯灯)取付柱は、 60.5x3.2・H=2100とし片開扉吊元とする。	
	2 仮設 工事	1 足場その他 (2.1.3)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
		(2.2.1) 外部足場	施行箇所面に枠組足場を設ける。 施行箇所面に手摺先行型くさび緊結式足場を設ける。(W900) 施行箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。
		内部足場	脚立、足場板等
		防護シート等	防音パネル 防音シート ○養生シート ネット及び養生シート
		材料、撤去材等の運搬方法	A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1) 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中横及び幅木の機能を有する足場とし足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋根組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。 墜落制止用器具の使用 について 受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める
		② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板 ()) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート ()) 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う (図示) 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
3 仮設間仕切り (2.3.2)		○ 設ける (図示)	
4 監督職員事務所 (2.4.1)		規模 10m ² 程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 びく床シート敷き ｼﾞﾙ用ｶｯｼﾞ敷き 内壁、天井 合板又はせつこうボード張り、合成樹脂珪藻土塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける(畳敷き) 備品 机 いす 保潔機 ゴム靴 雨がっぱ 衣類 (上記6品、____人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕(令和4年版) 建築改修工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)	

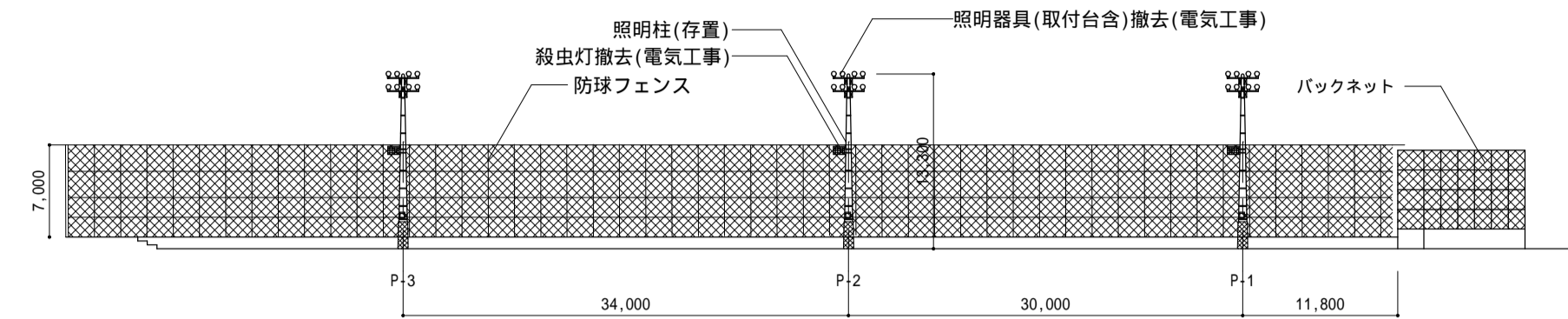


6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂絡めっきの種類】のF種程度の垂絡めっきを施したものを</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <table border="1"> <tr> <th>薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</th> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	適用部位	保存処理性能区分			K2 K3 K4			K2 K3 K4	薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	6 内装改修工事																																																																																																																																																			
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																									
		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ																																																																																																																																																																																									
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																									
	使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																						
	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	適用部位	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																									
			K2 K3 K4																																																																																																																																																																																									
			K2 K3 K4																																																																																																																																																																																									
薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																										
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																										
<p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm 周辺部の端からの寸法 _____ mm 野縁の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う(_____箇所以上、 _____箇所) 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____</p> <p>天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p>	9 カーペット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)																																																																																																																																																																																											
<p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p>		10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)																																																																																																																																																																																										
<p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td></td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">無地</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td></td> <td>H S</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル柄物</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>			区分	種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート		T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート		H S	2.0	マーブル柄物			クッションフロア	K S	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接合形状</td> <td>凸凹ジョイントビニル床タイル</td> <td></td> <td>K T</td> <td>2.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形状</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td rowspan="2">○柄物</td> <td rowspan="2">500×500</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>性</th> <th>能</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3 0 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1 5 0mm角</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐衝撃重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>高さ(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>硬質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒトコト工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>クリップ工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種 2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p>	区分	種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接合形状	凸凹ジョイントビニル床タイル		K T	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	置敷形状	複層ビニル床タイル	F T	2.0	2.5	○柄物	500×500		置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	3.0		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○			種	類	性	能	厚さ(mm)				体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種	類	形状	備考			3 0 0mm角				1 5 0mm角		種	類	厚さ(mm)	備考					種	類	寸法	厚さ(mm)					種	類	高さ(mm)	厚さ(mm)	軟質	硬質	60 75 100	1.5 2.0	色柄	種	類	厚さ(mm)	寸法(mm)			単層品 積層品			種	別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種				適用	無地	ヒトコト工法		B種						つづり縫い		C種								パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			クリップ工法	適用				全面接着工法			種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種				
区分			種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																			
発泡層無			単層ビニル床シート		T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																			
			複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																																																								
発泡層有			発泡複層ビニル床シート		H S	2.0	マーブル柄物																																																																																																																																																																																					
			クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																								
区分			種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																			
接合形状			凸凹ジョイントビニル床タイル		K T	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																				
	単層ビニル床タイル		T T	2.0																																																																																																																																																																																								
置敷形状	複層ビニル床タイル	F T	2.0	2.5	○柄物	500×500																																																																																																																																																																																						
	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	3.0																																																																																																																																																																																								
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○																																																																																																																																																																																							
種	類	性	能	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																								
			体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																									
種	類	形状	備考																																																																																																																																																																																									
		3 0 0mm角																																																																																																																																																																																										
		1 5 0mm角																																																																																																																																																																																										
種	類	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																									
種	類	寸法	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																									
種	類	高さ(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																									
軟質	硬質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																									
色柄	種	類	厚さ(mm)	寸法(mm)																																																																																																																																																																																								
		単層品 積層品																																																																																																																																																																																										
種	別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																																																					
A種				適用	無地	ヒトコト工法																																																																																																																																																																																						
B種						つづり縫い																																																																																																																																																																																						
C種																																																																																																																																																																																												
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																																																								
		クリップ工法	適用																																																																																																																																																																																									
		全面接着工法																																																																																																																																																																																										
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																								
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																									
二種																																																																																																																																																																																												
<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">フローリングボード1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td rowspan="3">釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フローリングボード1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">8</td> <td>8</td> <td rowspan="2">接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプフローリングボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">15</td> <td rowspan="3">釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> <td>A種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>C種</td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り</p>	種	類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	フローリングボード1等	なら		15	表6.11.1	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法		表6.11.3	表6.11.5	フローリングボード1等	なら		8	8	接着工法	防水処理足金物付	15	種	類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプフローリングボードタイプ	なら		15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種		B種	C種	12 畳敷き (6.12.2)																																																																																																																																																			
種	類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																						
フローリングボード1等	なら		15	表6.11.1	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法																																																																																																																																																																																							
				表6.11.3																																																																																																																																																																																								
				表6.11.5																																																																																																																																																																																								
フローリングボード1等	なら		8	8	接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																						
				15																																																																																																																																																																																								
種	類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																						
1×6タイプフローリングボードタイプ	なら		15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種																																																																																																																																																																																							
					B種																																																																																																																																																																																							
					C種																																																																																																																																																																																							
<p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (裏表: C1 C2)</p>	13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)																																																																																																																																																																																											
<p>13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>規格、厚さ(mm)等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td></td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td></td> <td>杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td></td> <td>トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td></td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td></td> <td>2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなきせっこうボード(GB-P)</td> <td></td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>軒天用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td></td> <td>タイプ2(無石棉) 8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903による 1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td></td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td></td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆板</td> <td>研磨品</td> <td>(3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td>無研磨品</td> <td>(3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ</td> <td>5.5 接着の程度 表板樹種 シナ</td> </tr> <tr> <td>板面の品質</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度</td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種</td> <td>なら しおじ 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>表面性能</td> <td>F FW W WS 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他張り用合板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種	類	規格、厚さ(mm)等	せっこうボード(GB-R)		12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)		杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	不燃積層せっこうボード(GB-NC)		トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし	シーリングせっこうボード(GB-S)		15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)		2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)		25	グラスウール吸音ボード(GW-B)		25	吸音あなきせっこうボード(GB-P)		9.5(準不燃)	ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	軒天用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)		タイプ2(無石棉) 8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 1.2	難燃木毛セメント板		30 25 20 15	断熱木毛セメント板		30 25 20 15	火山性ガラス質被覆板	研磨品	(3 6 9 9.5 ____)	無研磨品	(3 6 9 9.5 ____)	普通合板	厚さ	5.5 接着の程度 表板樹種 シナ	板面の品質	防虫処理 行う	天然化粧合板	厚さ	接着の程度	化粧板樹種	なら しおじ 防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度 化粧加工の方法	表面性能	F FW W WS 防虫処理 行う	その他張り用合板			14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)																																																																																																																							
種		類	規格、厚さ(mm)等																																																																																																																																																																																									
せっこうボード(GB-R)			12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																									
化粧せっこうボード(GB-D)			杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																									
不燃積層せっこうボード(GB-NC)			トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし																																																																																																																																																																																									
シーリングせっこうボード(GB-S)			15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																									
強化せっこうボード(GB-F)			2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																									
ロックウール吸音ボード(RW-B)			25																																																																																																																																																																																									
グラスウール吸音ボード(GW-B)			25																																																																																																																																																																																									
吸音あなきせっこうボード(GB-P)		9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																										
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																										
	軒天用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																										
化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)		タイプ2(無石棉) 8.0 6.0																																																																																																																																																																																										
メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 1.2																																																																																																																																																																																										
難燃木毛セメント板		30 25 20 15																																																																																																																																																																																										
断熱木毛セメント板		30 25 20 15																																																																																																																																																																																										
火山性ガラス質被覆板	研磨品	(3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																										
	無研磨品	(3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																										
普通合板	厚さ	5.5 接着の程度 表板樹種 シナ																																																																																																																																																																																										
	板面の品質	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																										
天然化粧合板	厚さ	接着の程度																																																																																																																																																																																										
	化粧板樹種	なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																										
特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																										
	表面性能	F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																										
その他張り用合板																																																																																																																																																																																												
<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>防火性能</th> <th>品</th> <th>質</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">ビニル壁紙量産品(中級品)</td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p>	施工箇所	防火性能	品	質	規格			ビニル壁紙量産品(中級品)			15 天井廻り縁																																																																																																																																																																																	
施工箇所	防火性能	品	質	規格																																																																																																																																																																																								
		ビニル壁紙量産品(中級品)																																																																																																																																																																																										
<p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p>	16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)																																																																																																																																																																																											
<p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 既製目地材 既調合材料(_____) 設ける (形状 _____)</p> <p>床目地 設ける 設けない</p> <p>目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p>		17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)																																																																																																																																																																																										
<p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 行わない 行う</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法</p>			施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色		工法			磁器	無釉	有り		有り	標準				陶器	施釉	無し		無し	特注				磁器	無釉	有り		有り	標準				陶器	施釉	無し		無し	特注				磁器	無釉	有り		有り	標準				陶器	施釉	無し		無し	特注		18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)																																																																																																																									
施工箇所・形状・タイルの種類			寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法																																																																																																																																																																																		
				磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																			
				陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																			
				磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																			
				陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																			
				磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																			
				陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																			
<p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚(mm) 10 15</p>	<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>⑦ ② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えで下地調整の種別がR8種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種</th> <th>別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>不透膜塗料塗りの場合はR B種</td> <td rowspan="2">洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂絡めっき鋼面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びせっこうプラスター面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及びALCパネル面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形セメント面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード及びその他ボード面</td> <td rowspan="2">R A種</td> <td>R B種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> </table>		素地	種	別	備考	木部	R A種	不透膜塗料塗りの場合はR B種	洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁	R C種	鉄鋼面	R A種	R B種		R C種	垂絡めっき鋼面	R A種	R B種		R C種	モルタル及びせっこうプラスター面	R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種	コンクリート面及びALCパネル面	R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種	コンクリート面及び押出成形セメント面	R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種	せっこうボード及びその他ボード面	R A種	R B種		R C種																																																																																																																																																			
素地		種	別	備考																																																																																																																																																																																								
木部		R A種	不透膜塗料塗りの場合はR B種	洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁																																																																																																																																																																																								
			R C種																																																																																																																																																																																									
鉄鋼面		R A種	R B種																																																																																																																																																																																									
			R C種																																																																																																																																																																																									
垂絡めっき鋼面		R A種	R B種																																																																																																																																																																																									
			R C種																																																																																																																																																																																									
モルタル及びせっこうプラスター面		R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																								
			R C種																																																																																																																																																																																									
コンクリート面及びALCパネル面	R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																									
		R C種																																																																																																																																																																																										
コンクリート面及び押出成形セメント面	R A種	R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																									
		R C種																																																																																																																																																																																										
せっこうボード及びその他ボード面	R A種	R B種																																																																																																																																																																																										
		R C種																																																																																																																																																																																										

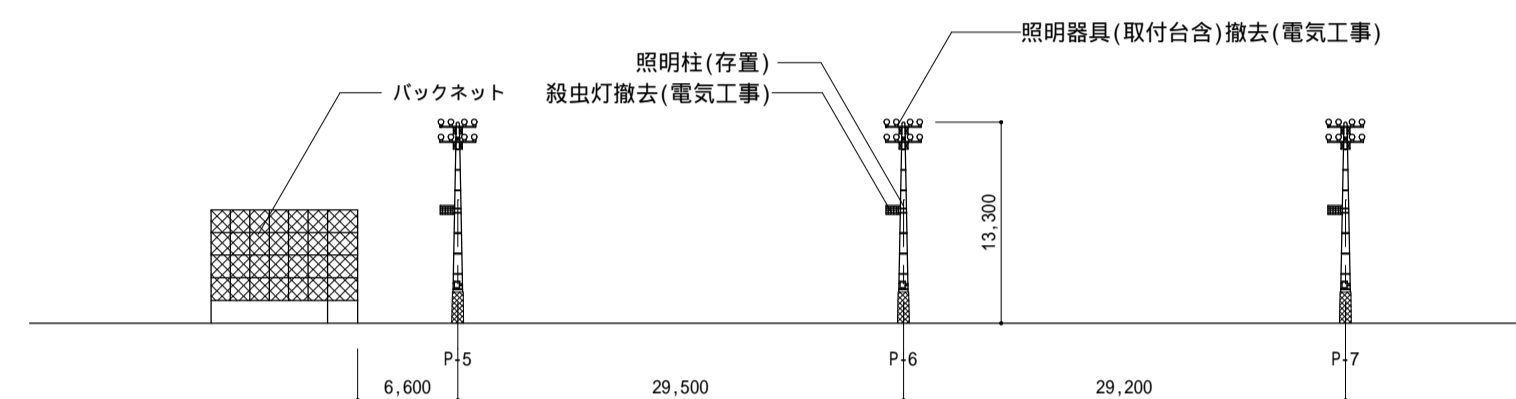
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂絡めっきの種類】のF種程度の垂絡めっきを施したものを</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <table border="1"> <tr> <th>薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</th> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	適用部位	保存処理性能区分			K2 K3 K4			K2 K3 K4	薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	6 内装改修工事																																																																																																																																																			
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																									
		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ																																																																																																																																																																																									
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																									
	使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																						
	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理	適用部位	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																									
			K2 K3 K4																																																																																																																																																																																									
			K2 K3 K4																																																																																																																																																																																									
薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																										
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																										
<p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm 周辺部の端からの寸法 _____ mm 野縁の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う(_____箇所以上、 _____箇所) 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____</p> <p>天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p>	9 カーペット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)																																																																																																																																																																																											
<p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p>		10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)																																																																																																																																																																																										
<p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td></td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">無地</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td></td> <td>H S</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル柄物</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>			区分	種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート		T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート		H S	2.0	マーブル柄物			クッションフロア	K S	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接合形状</td> <td>凸凹ジョイントビニル床タイル</td> <td></td> <td>K T</td> <td>2.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形状</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td rowspan="2">○柄物</td> <td rowspan="2">500×500</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>性</th> <th>能</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3 0 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1 5 0mm角</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐衝撃重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>高さ(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>硬質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒトコト工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>クリップ工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種 2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p>	区分	種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接合形状	凸凹ジョイントビニル床タイル		K T	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	置敷形状	複層ビニル床タイル	F T	2.0	2.5	○柄物	500×500		置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	3.0		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○			種	類	性	能	厚さ(mm)				体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種	類	形状	備考			3 0 0mm角				1 5 0mm角		種	類	厚さ(mm)	備考					種	類	寸法	厚さ(mm)					種	類	高さ(mm)	厚さ(mm)	軟質	硬質	60 75 100	1.5 2.0	色柄	種	類	厚さ(mm)	寸法(mm)			単層品 積層品			種	別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種				適用	無地	ヒトコト工法		B種						つづり縫い		C種								パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			クリップ工法	適用				全面接着工法			種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種				
区分			種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																			
発泡層無			単層ビニル床シート		T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																			
			複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																																																								
発泡層有			発泡複層ビニル床シート		H S	2.0	マーブル柄物																																																																																																																																																																																					
			クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																								
区分			種	類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																			
接合形状			凸凹ジョイントビニル床タイル		K T	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																				
	単層ビニル床タイル		T T	2.0																																																																																																																																																																																								
置敷形状	複層ビニル床タイル	F T	2.0	2.5	○柄物	500×500																																																																																																																																																																																						
	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	3.0																																																																																																																																																																																								
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○																																																																																																																																																																																							
種	類	性	能	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																								
			体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																									
種	類	形状	備考																																																																																																																																																																																									
		3 0 0mm角																																																																																																																																																																																										
		1 5 0mm角																																																																																																																																																																																										
種	類	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																									
種	類	寸法	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																									
種	類	高さ(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																									
軟質	硬質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																									
色柄	種	類	厚さ(mm)	寸法(mm)																																																																																																																																																																																								
		単層品 積層品																																																																																																																																																																																										
種	別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																																																					
A種				適用	無地	ヒトコト工法																																																																																																																																																																																						
B種						つづり縫い																																																																																																																																																																																						
C種																																																																																																																																																																																												
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																																																								
		クリップ工法	適用																																																																																																																																																																																									
		全面接着工法																																																																																																																																																																																										
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																								
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																									
二種																																																																																																																																																																																												
<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">フローリングボード1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td rowspan="3">釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フローリングボード1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">8</td> <td>8</td> <td rowspan="2">接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプフローリングボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">15</td> <td rowspan="3">釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法</td> <td>A種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>C種</td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り</p>	種	類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	フローリングボード1等	なら		15	表6.11.1	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法		表6.11.3	表6.11.5	フローリングボード1等	なら		8	8	接着工法	防水処理足金物付	15	種	類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプフローリングボードタイプ	なら		15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種		B種	C種	12 畳敷き (6.12.2)																																																																																																																																																			
種	類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																						
フローリングボード1等	なら		15	表6.11.1	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法																																																																																																																																																																																							
				表6.11.3																																																																																																																																																																																								
				表6.11.5																																																																																																																																																																																								
フローリングボード1等	なら		8	8	接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																						
				15																																																																																																																																																																																								
種	類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																						
1×6タイプフローリングボードタイプ	なら		15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種																																																																																																																																																																																							
					B種																																																																																																																																																																																							
					C種																																																																																																																																																																																							
<p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (裏表: C1 C2)</p>	13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)																																																																																																																																																																																											
<p>13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>規格、厚さ(mm)等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td></td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td></td> <td>杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td></td> <td>トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td></td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td></td> <td>2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td></td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなきせっこうボード(GB-P)</td> <td></td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロック</td></tr></table>		種	類	規格、厚さ(mm)等	せっこうボード(GB-R)		12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)		杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	不燃積層せっこうボード(GB-NC)		トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし	シーリングせっこうボード(GB-S)		15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)		2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)		25	グラスウール吸音ボード(GW-B)		25	吸音あなきせっこうボード(GB-P)		9.5(準不燃)	ロック																																																																																																																																																															
種		類	規格、厚さ(mm)等																																																																																																																																																																																									
せっこうボード(GB-R)			12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																									
化粧せっこうボード(GB-D)			杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																									
不燃積層せっこうボード(GB-NC)			トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし																																																																																																																																																																																									
シーリングせっこうボード(GB-S)			15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																									
強化せっこうボード(GB-F)			2(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																									
ロックウール吸音ボード(RW-B)			25																																																																																																																																																																																									
グラスウール吸音ボード(GW-B)			25																																																																																																																																																																																									
吸音あなきせっこうボード(GB-P)		9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																										
ロック																																																																																																																																																																																												



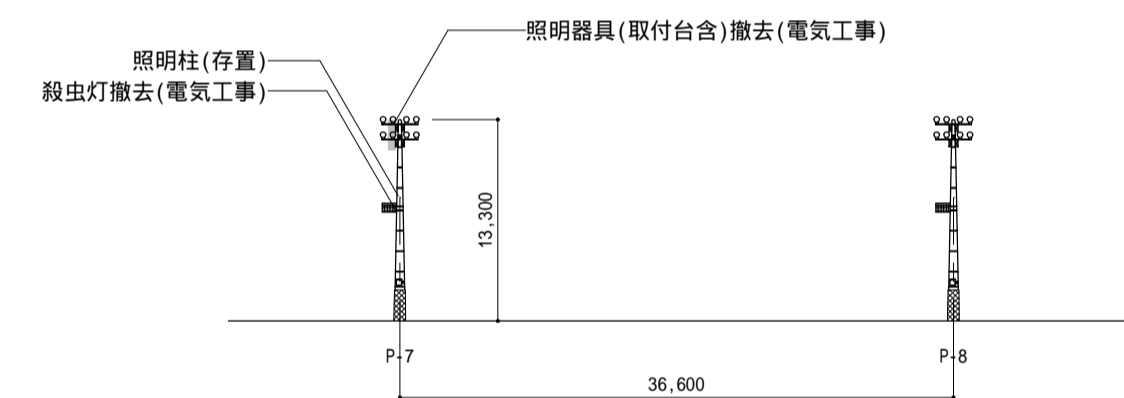
グラウンド照明配置図 1/500 (注)● 照明柱を示す



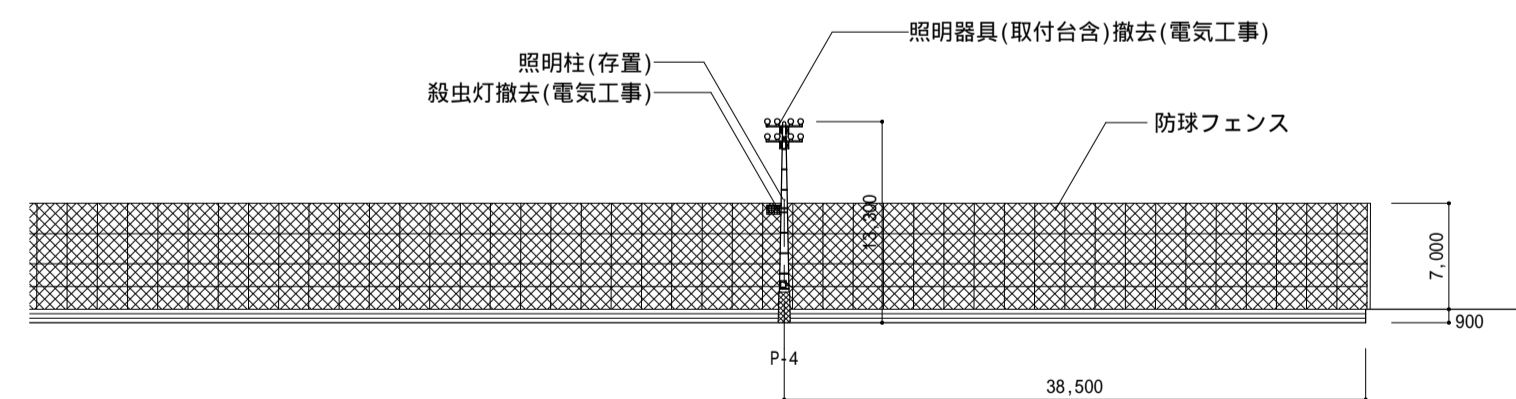
グラウンド北面図 1/500



グラウンド東面図 1/500

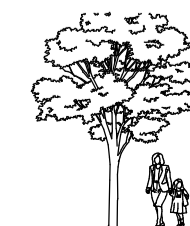


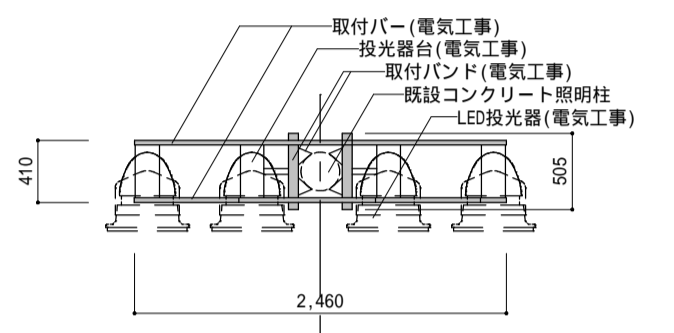
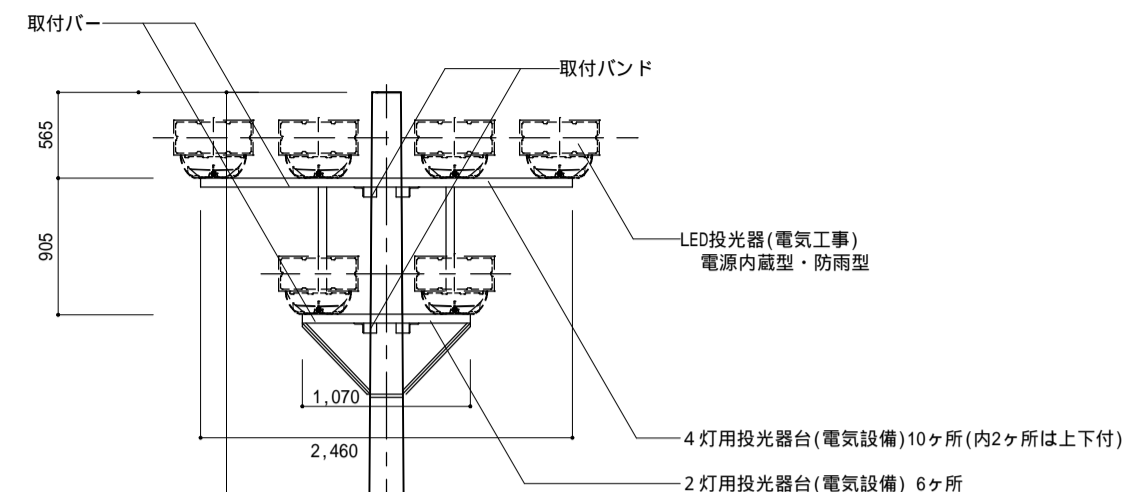
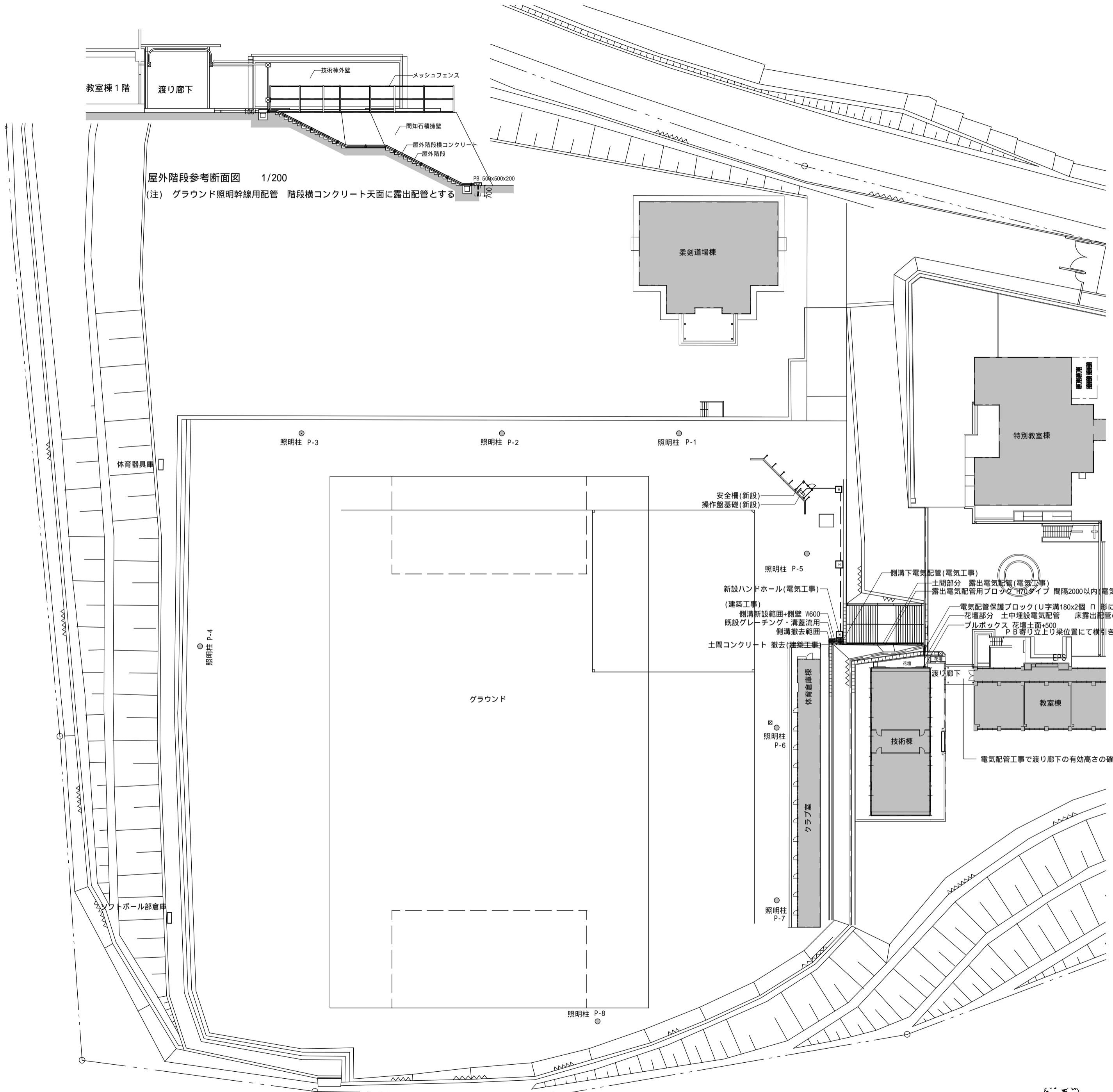
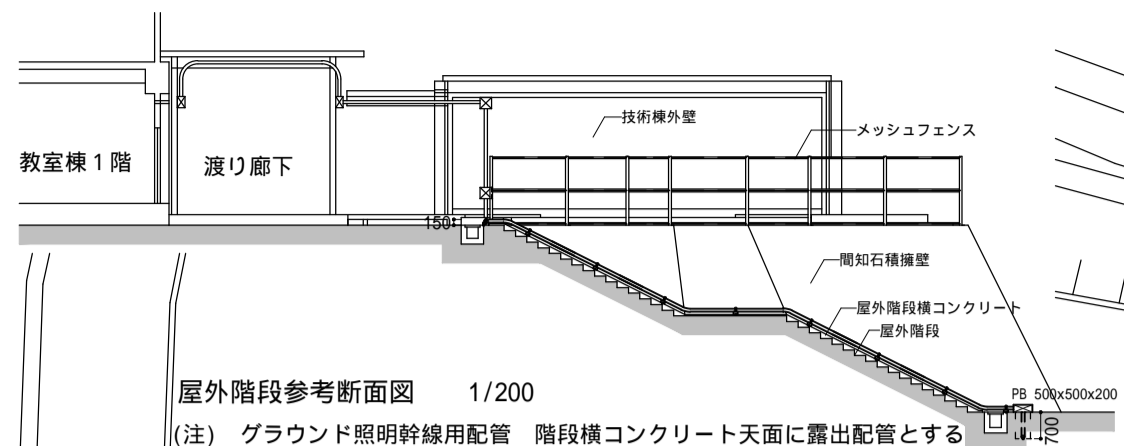
グラウンド南面図 1/500



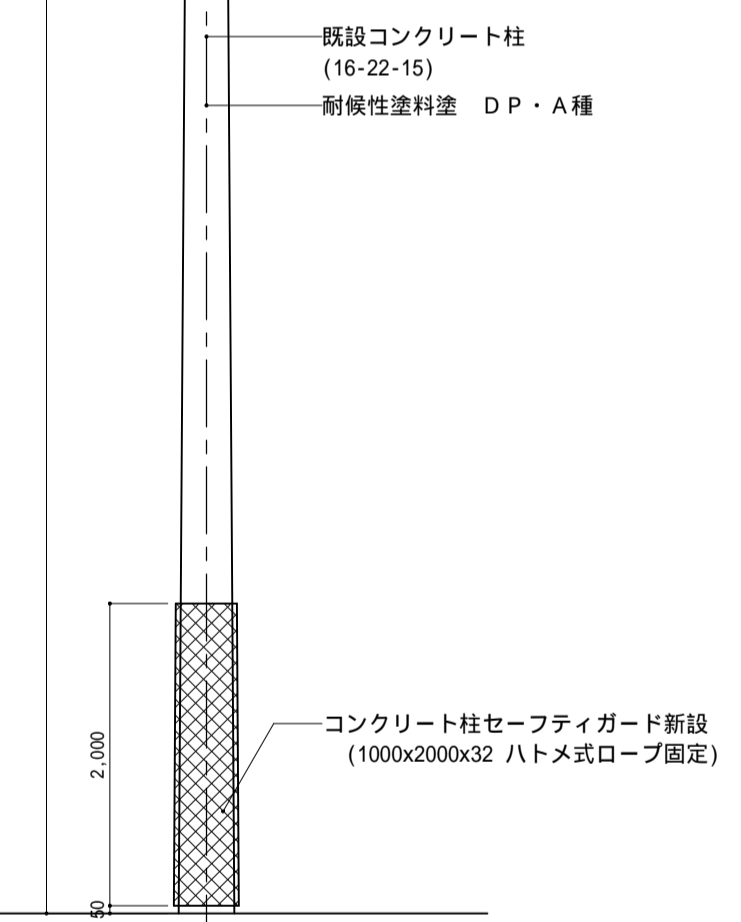
グラウンド西面図 1/500

照明柱存置 全 8本 装柱機器配管を撤去(電気工事)し 下地処理の上耐候性塗料塗(DP-A)に改修
 操作盤基礎撤去 全 1ヶ所 掘削穴埋戻し後整地を施す
 タイマー盤取付ブロック壁撤去 全 1ヶ所 掘削穴埋戻し後整地を施す
 安全柵(PCフェンス) H2000(撤去) L = 8200





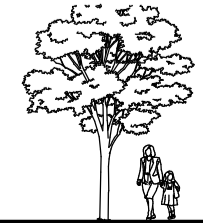
4灯用投光器取付台平面詳細図 1/50
薄墨部分は鳥害防止ピン(SUS静刺山)取付位置を示す(建築工事)

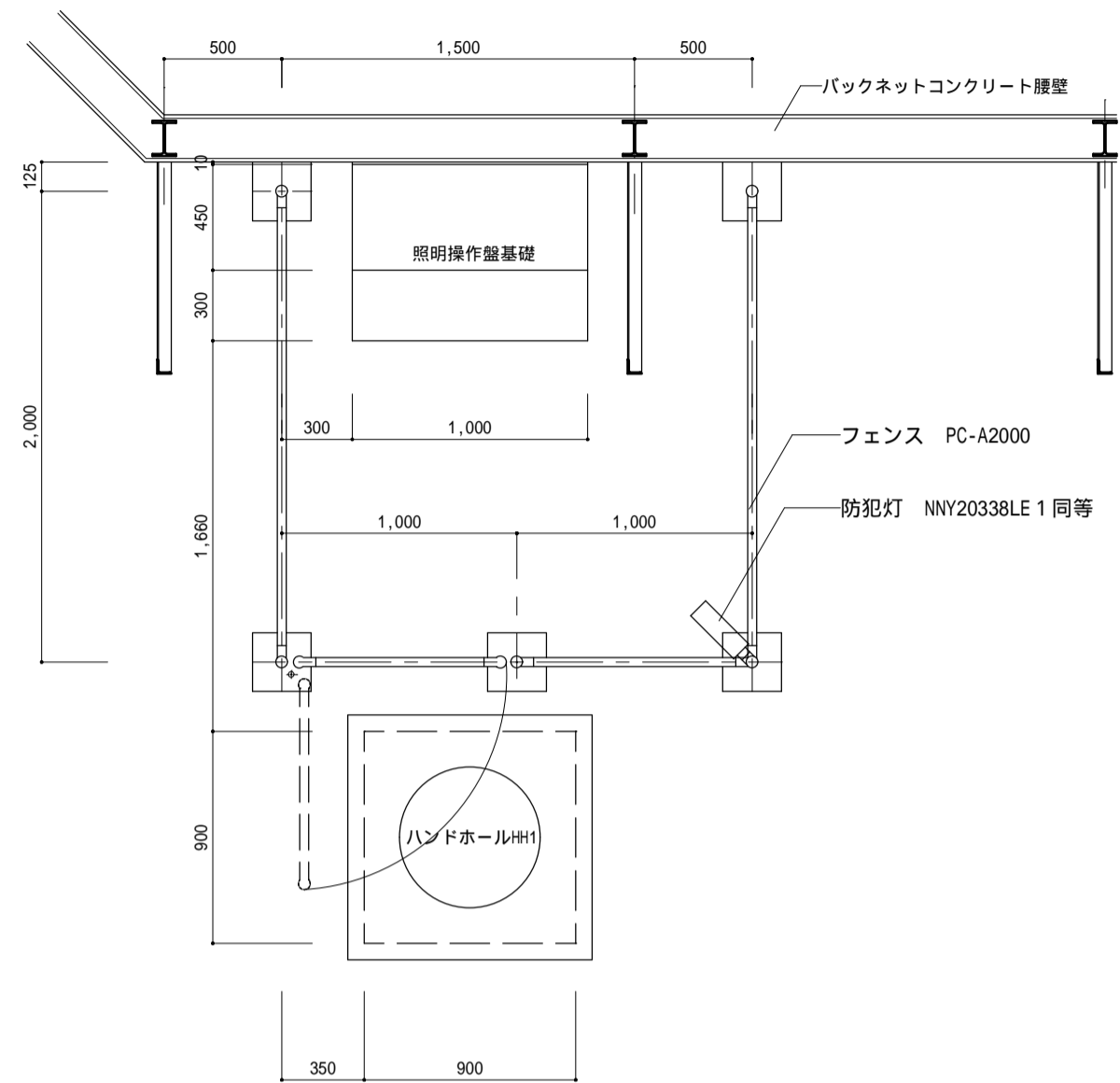


グラウンド照明柱詳細図 1/50
新設投光器台の形状・投光器の台数は、電気設備図による

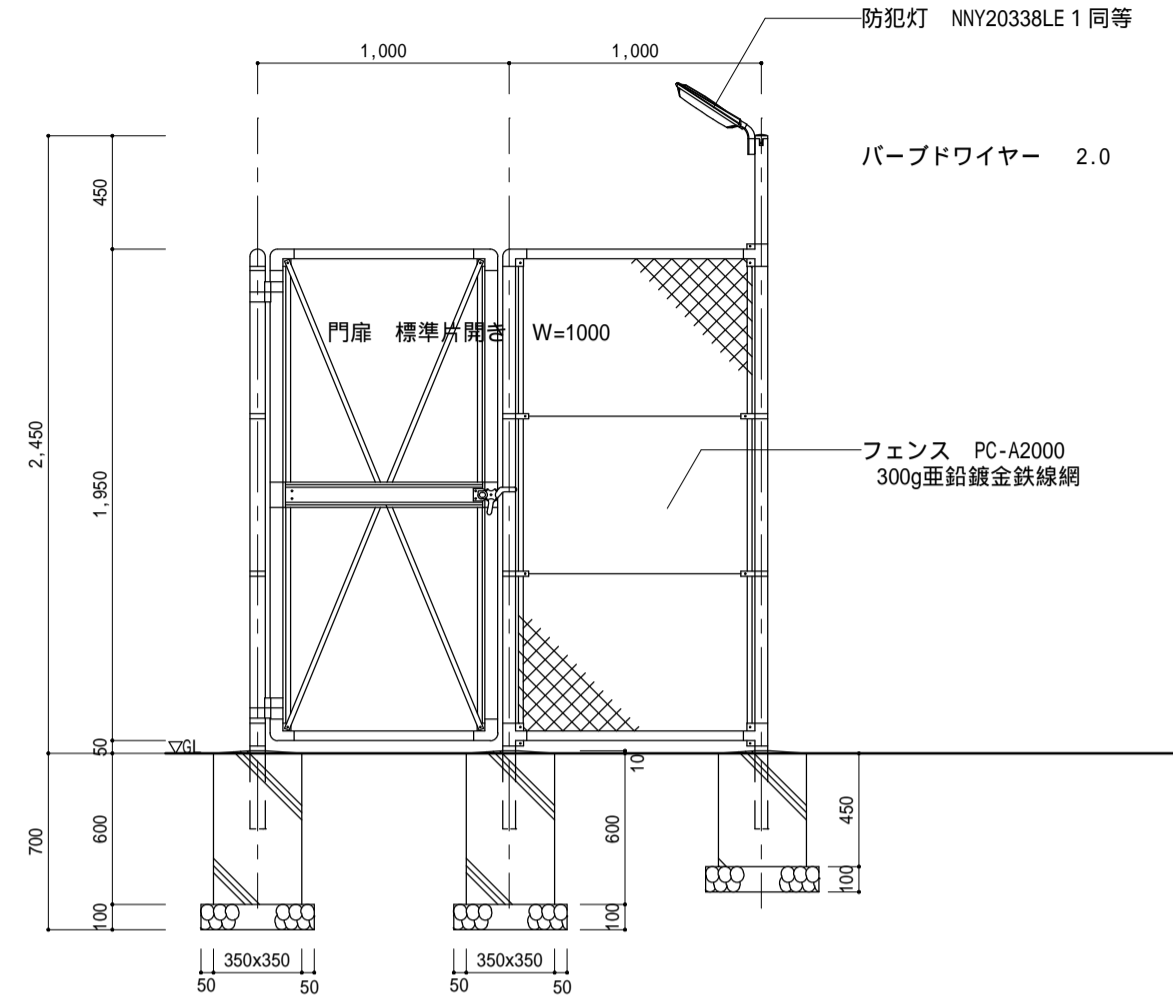
注記1 野球塁間距離を27.431mとして計画する。
注記2 ホームベースよりバックネット腰壁までを7.000mとして計画する。
注記3 サッカーコートは9.0m x 5.4mとして計画する。

グラウンド照明配置図 1/500 (注)○ 照明柱を示す

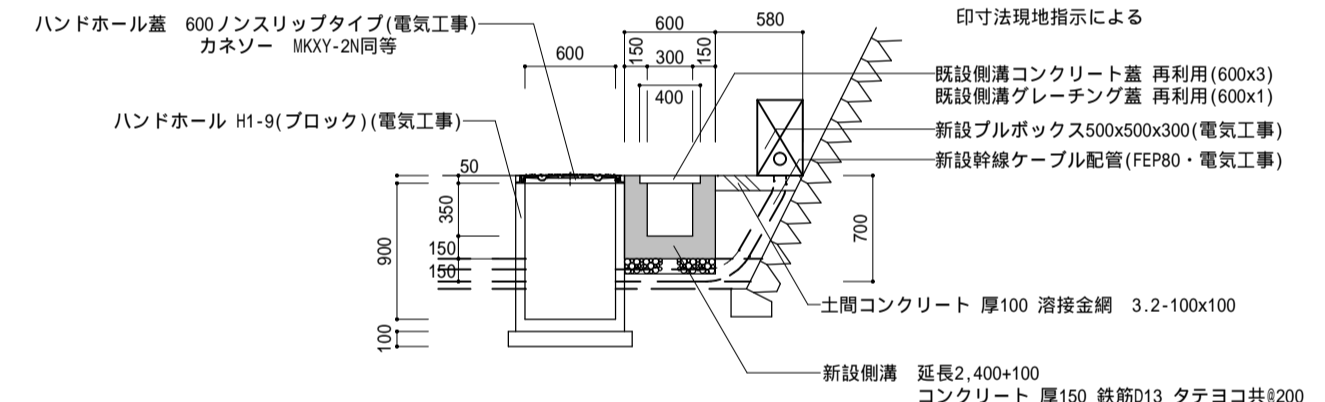
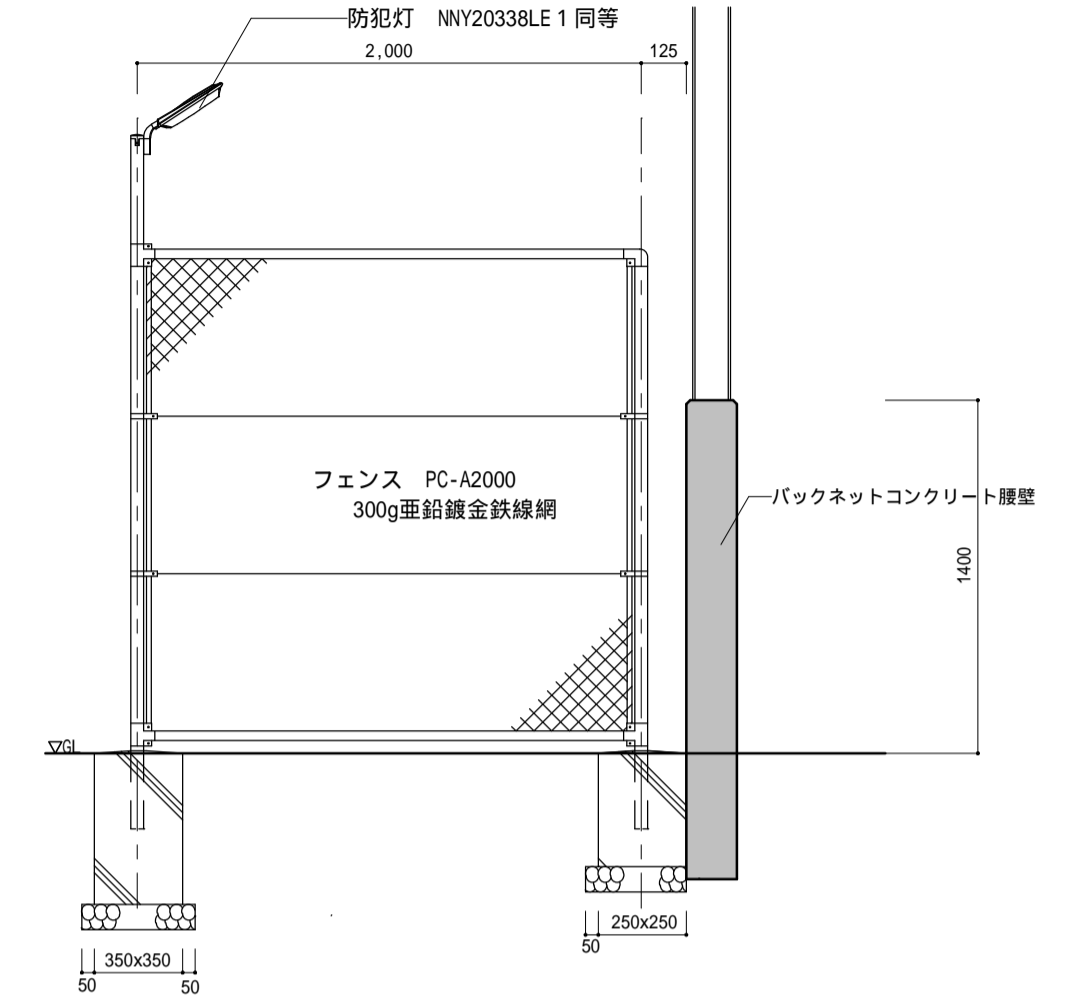




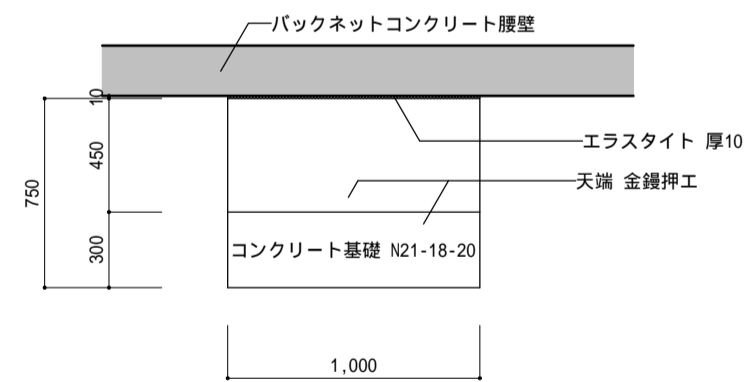
操作盤周辺平面図 1/30



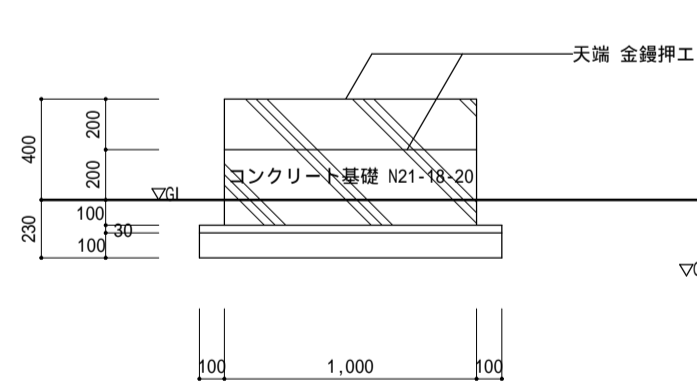
安全柵立面図 1/30



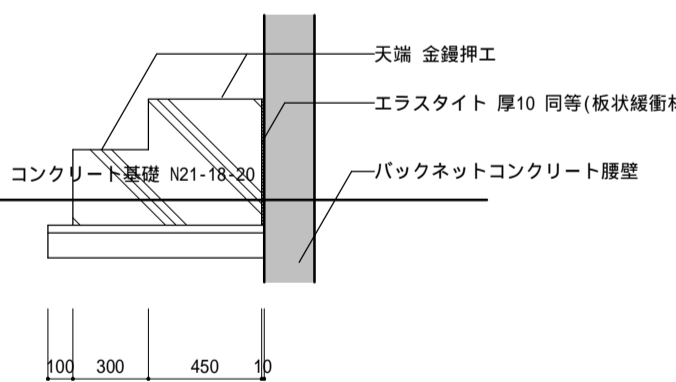
屋外階段最下段側溝廻り断面図 1/50



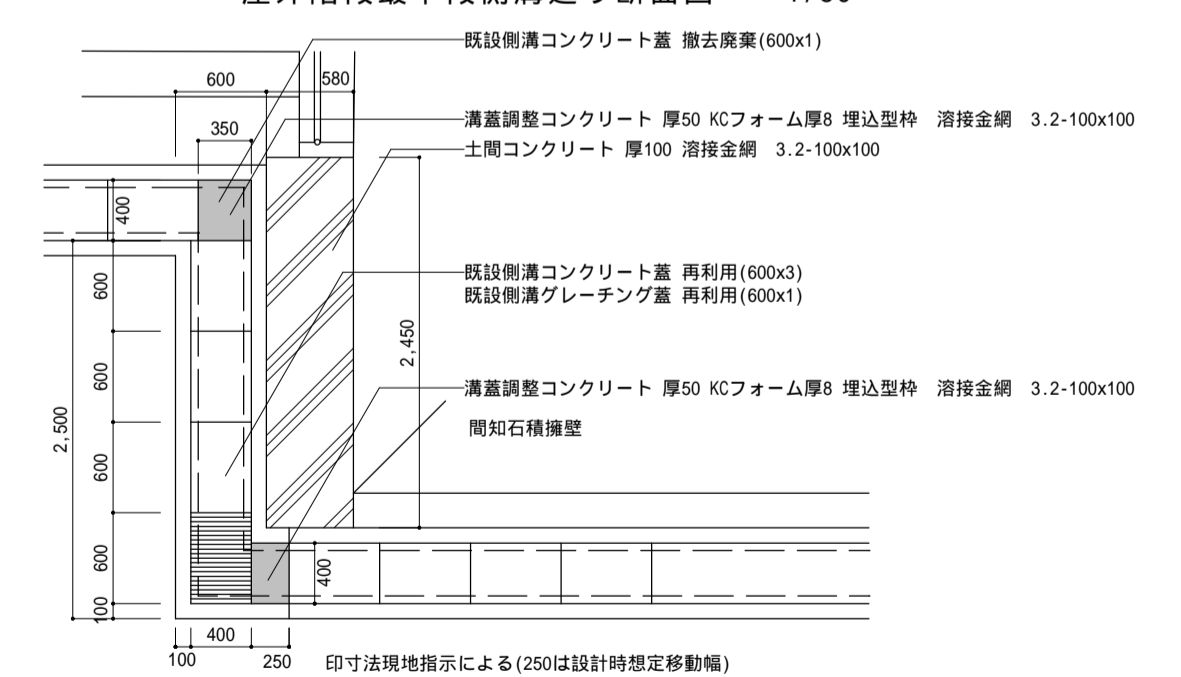
操作盤基礎平面図 1/30



操作盤基礎正面図 1/30



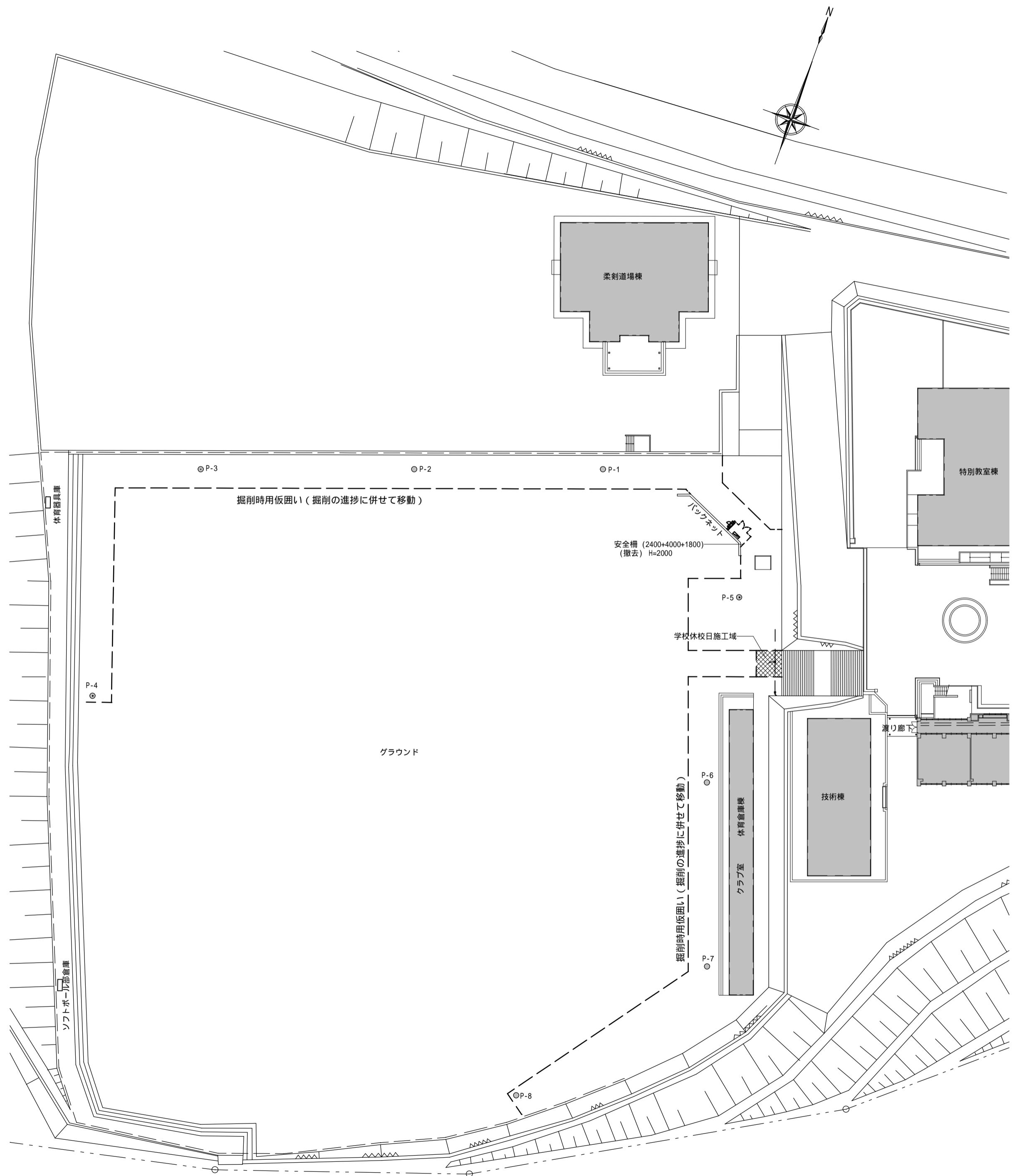
操作盤基礎側面図 1/30



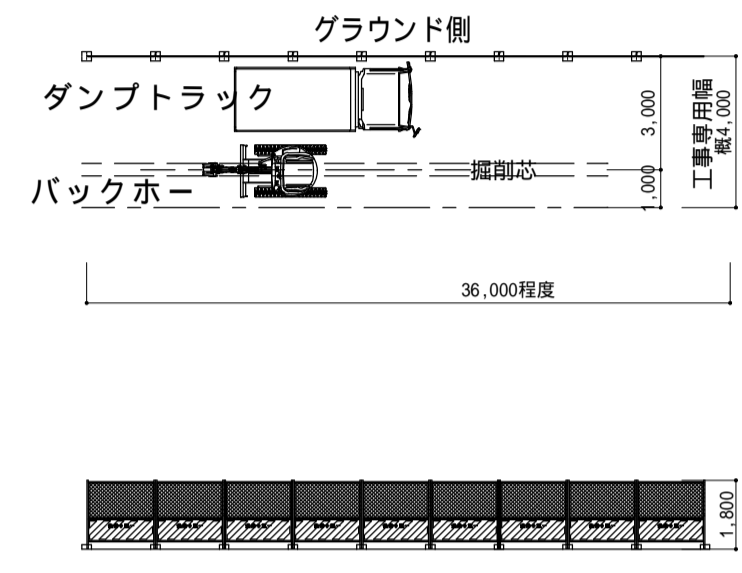
屋外階段最下段側溝廻り平面図 1/50

注: 既設間知石積み擁壁の高さは、最大4.95mであり根入れ深さは高さの15%と仮定 0.74mとなり0.70m以上であると想定する。



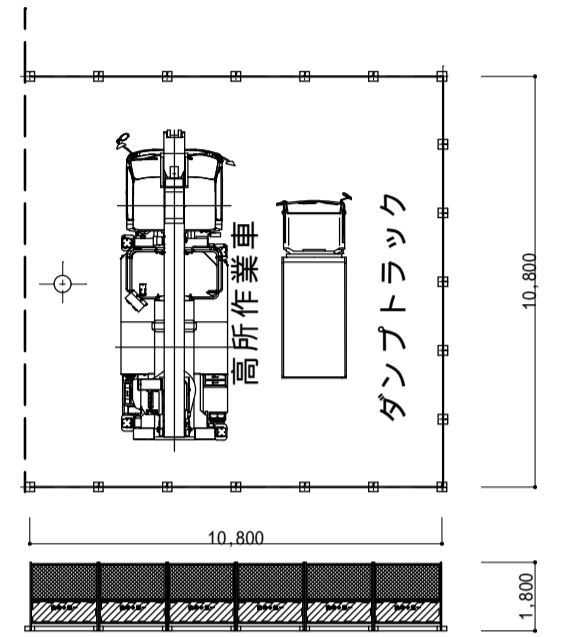


グラウンド照明配置図 1/500 (注)● 照明柱を示す



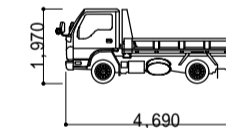
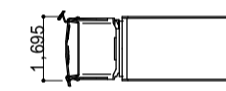
電路敷設(撤去・埋設)時参考仮囲い図 1/200

注: 仮囲い範囲は、照明柱位置を考慮し施工計画により移動設置する。
 注: 仮囲いの上部は防災シート貼とし、足元は塞ぐこと。
 注: 掘削土は構内指示ヶ所に仮置き、埋戻しに利用する。

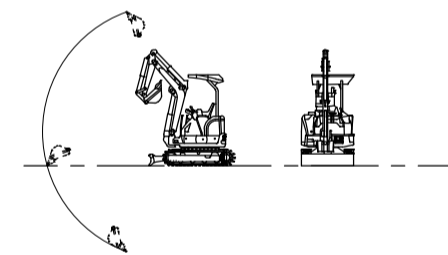


照明柱装柱他作業時参考仮囲い図 1/200

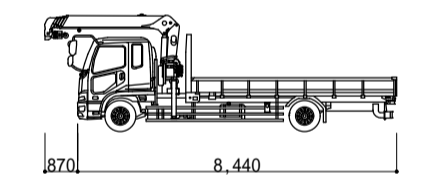
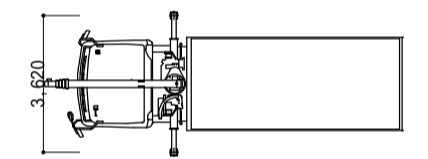
注: 仮囲いの上部は防災シート貼とし、足元は塞ぐこと。



ダンプトラック 2.0ton



バックホー0.2~04m3



ユニック付トラック 7.0ton



